

大垣市公共下水道事業

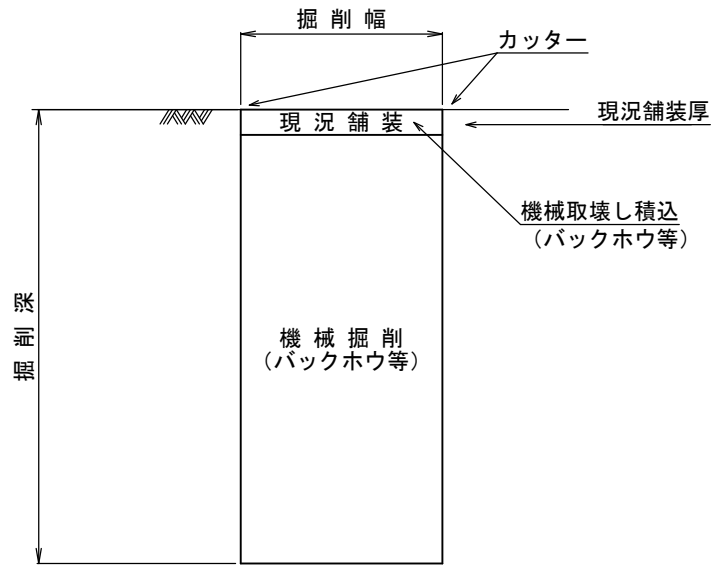
下水道施設標準構造図集

大垣市水道部下水道課

土工標準図

(国道，歩道，アスファルト舗装)

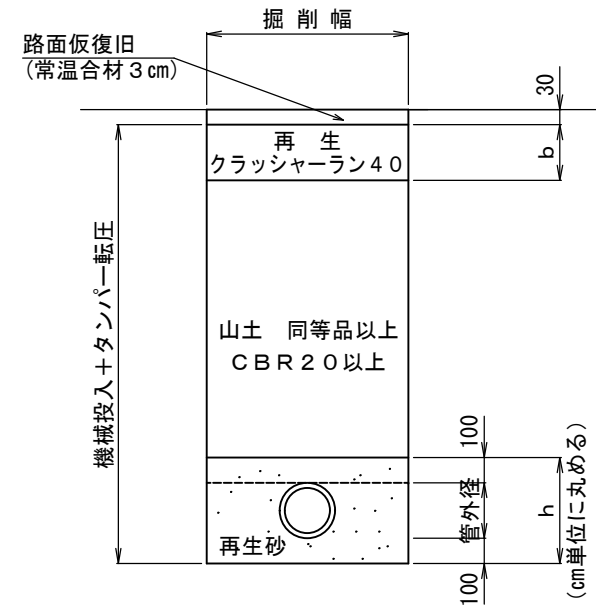
掘削標準断面図



碎石埋戻厚

採用	種別	b
	一般部	110 mm
	乗入(A型)	270 mm
	乗入(B型)	320 mm
	乗入(C・D型)	420 mm

埋戻標準断面図



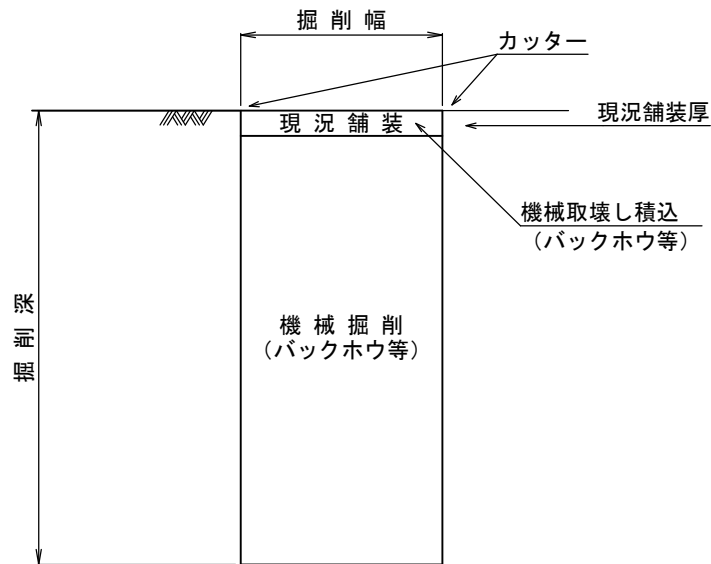
・HPの場合、砂の土被りは0とする

- ・埋戻土の転圧を充分行うこと。
- ・1日作業区間毎に仮復旧を行うこと。

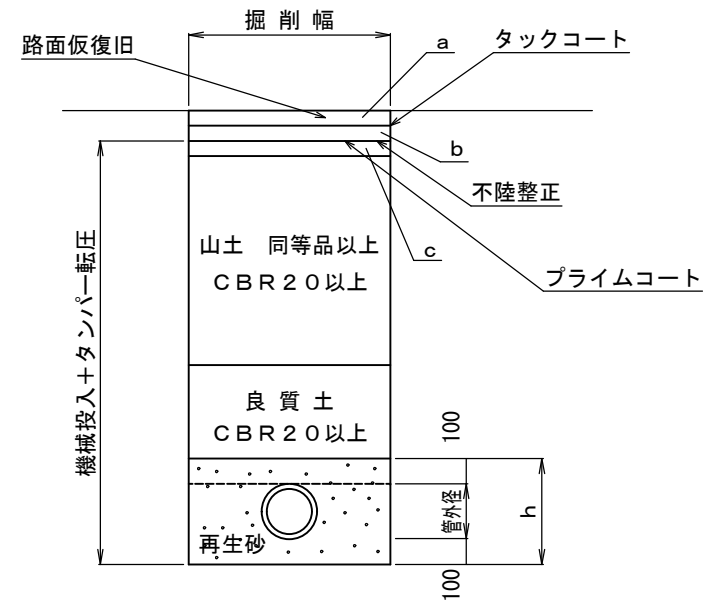
土工標準図

(県道，車道，アスファルト舗装 $t = 10, 15$)

掘削標準断面図



埋戻標準断面図



・HPの場合、砂の土被りは0とする

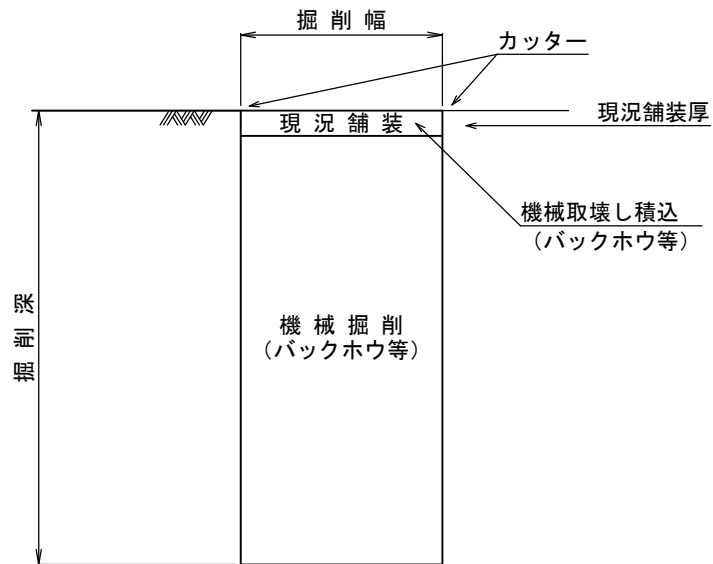
- ・埋戻土の転圧を充分行うこと。
- ・1日作業区間毎に仮復旧を行うことを原則とする。

採用	仮復旧厚	a	b	c
	t = 10cm	密粒30%再生	粗粒30%再生	RC40
		50	50	160
	t = 15cm	密粒30%再生	安定処理	RC40
		50	100	160

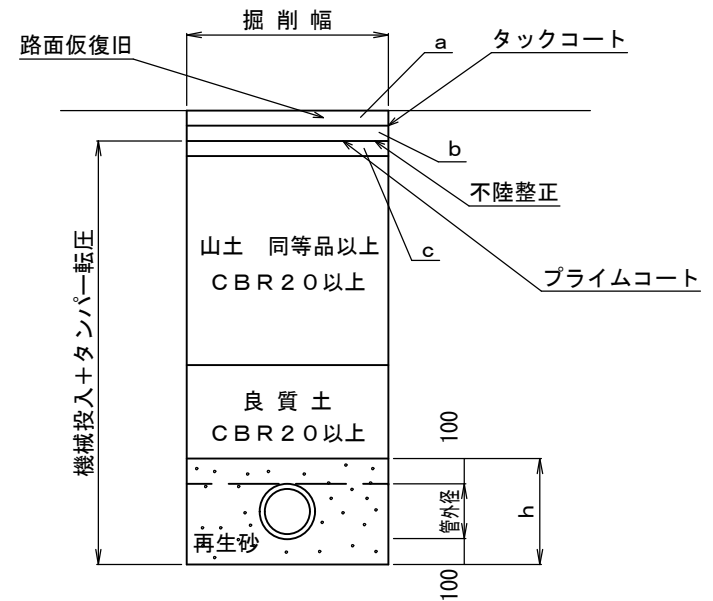
土工標準図

(県道，車道切削，アスファルト舗装 $t = 10, 15$)

掘削標準断面図



埋戻標準断面図



・HPの場合、砂の土被りは0とする

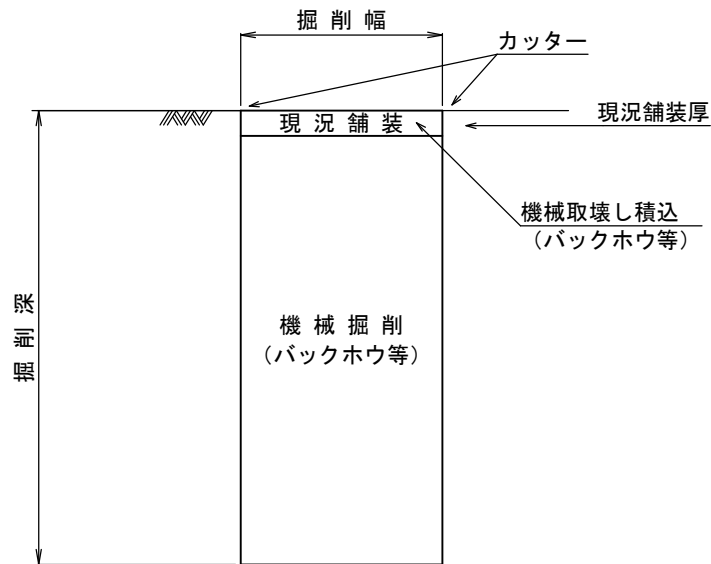
- ・埋戻土の転圧を充分行うこと。
- ・1日作業区間毎に仮復旧を行うことを原則とする。

採用	仮復旧厚	a	b	c
	t = 10 cm	粗粒30%再生 50	安定処理 50	RC40 160
	t = 15 cm	粗粒30%再生 50	安定処理 100	RC40 160

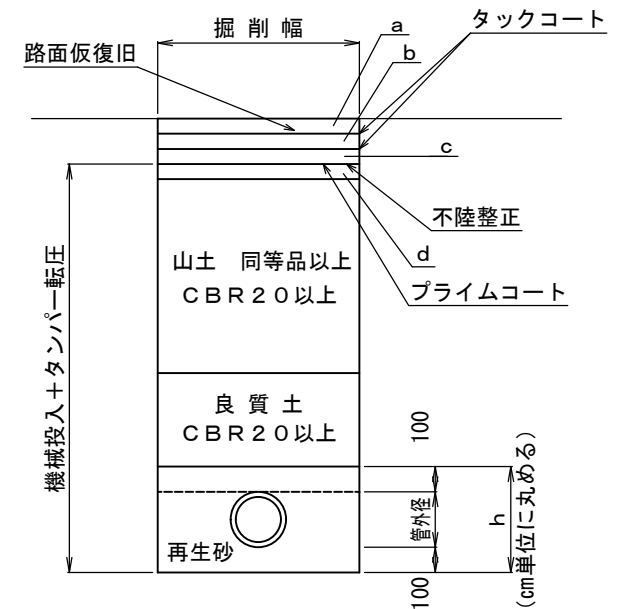
土工標準図

(県道, 車道, アスファルト舗装 $t = 18, 20$)

掘削標準断面図



埋戻標準断面図



・HPの場合、砂の土被りは0とする

- ・埋戻土の転圧を充分行うこと。
- ・1日作業区間毎に仮復旧を行うことを原則とする。

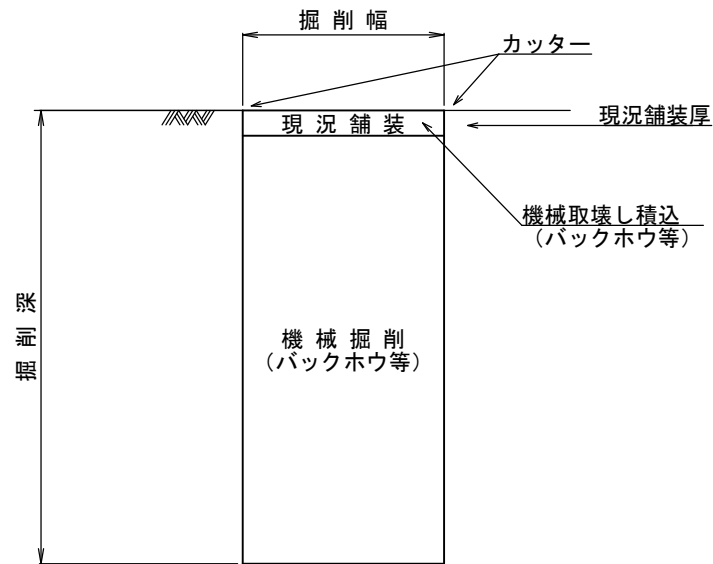
採用	仮復旧厚	a	b	c	d
	$t = 18 \text{ cm}$	密粒30%再生 50	粗粒30%再生 50	安定処理 80	RC40 150
	$t = 20 \text{ cm}$	密粒30%再生 50	粗粒30%再生 50	安定処理 100	RC40 200

図名	土工標準図	整理番号	10104
----	-------	------	-------

土工標準図

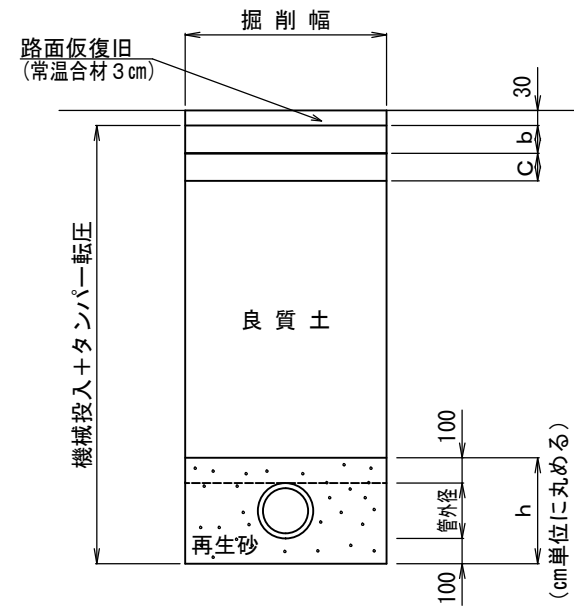
(県道，歩道，アスファルト舗装)

掘削標準断面図



種 別	舗装厚	b	c
一般部	t = 3 cm	RC 3 0	—
		100	—
乗入部	t = 4 cm	RC 3 0	—
		160	—
乗入部	t = 5 cm	M 3 0	RC 3 0
		120	100

埋戻標準断面図



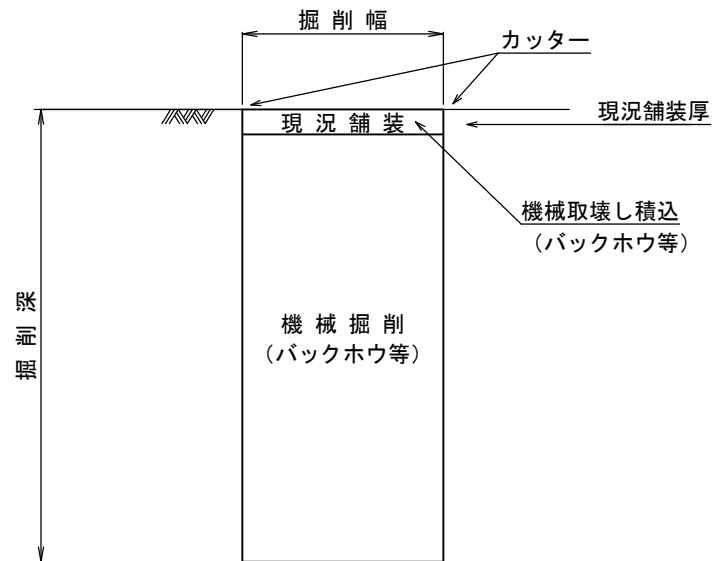
・ H P の場合、砂の土被りは 0 とする

- ・ 埋戻土の転圧を充分行うこと。
- ・ 1 日作業区間毎に仮復旧を行うことを原則とする。

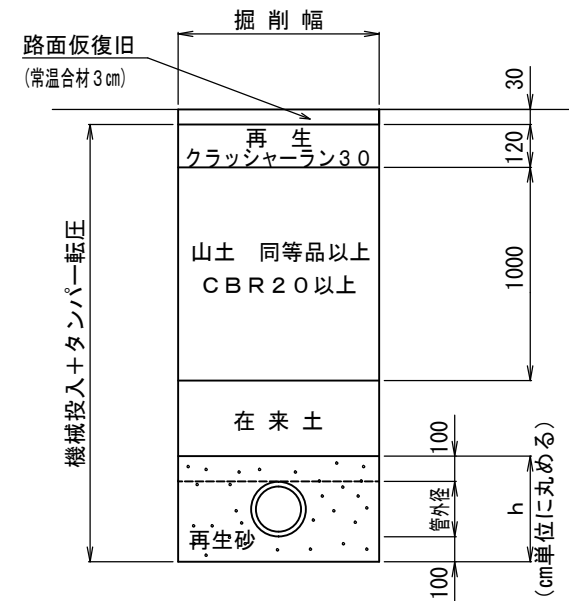
土工標準図

(市道，車道，アスファルト舗装 $t = 5$)

掘削標準断面図



埋戻標準断面図



・HPの場合、砂の土被りは0とする

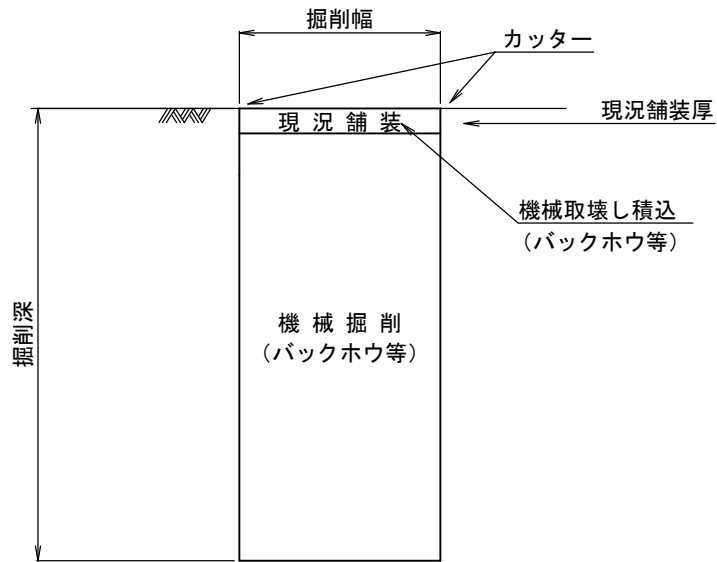
- ・埋戻土の転圧を充分行うこと。
- ・1日作業区間毎に仮復旧を行うこと。

図名	土工標準図	整理番号	1	0	1	0	6
----	-------	------	---	---	---	---	---

土工標準図

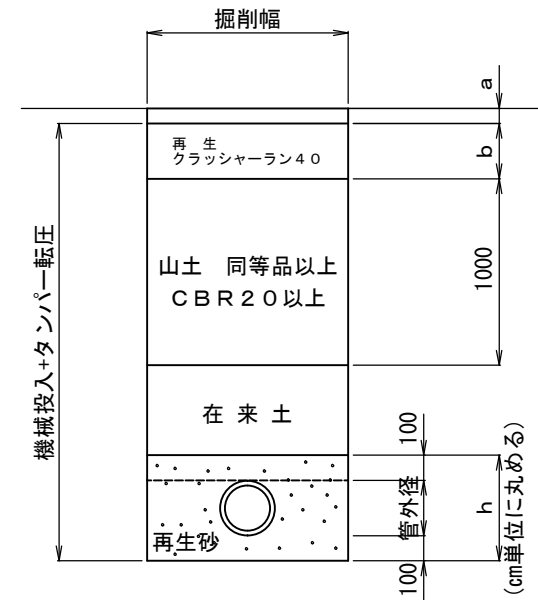
(市道、車道、アスファルト舗装 $t = 10$)

掘削標準断面図



採 用		
仮復旧種別	常温合材	密粒30%再生
	a=30	a=50
仮復旧碎石厚	b=230	b=210

埋戻標準断面図



・HPの場合、砂の土被りは0とする

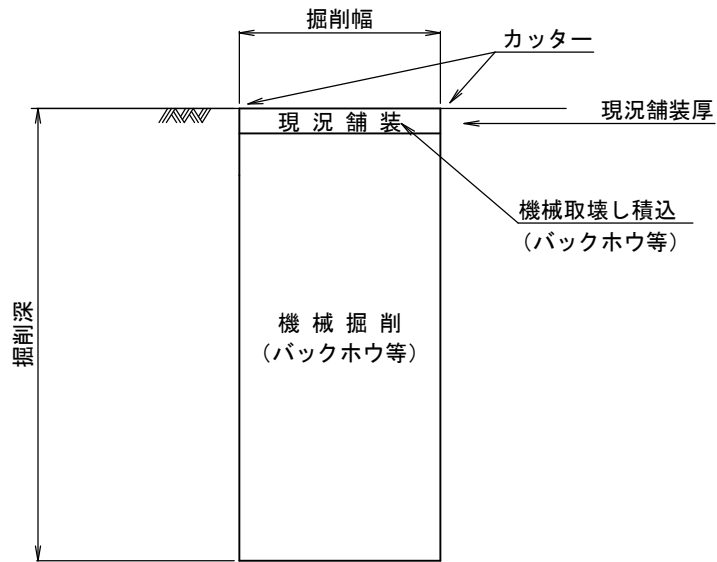
- ・埋戻土の転圧を充分行うこと。
- ・1日作業区間毎に仮復旧を行うこと。

図名	土工標準図	整理番号	1	0	1	0	7
----	-------	------	---	---	---	---	---

土工標準図

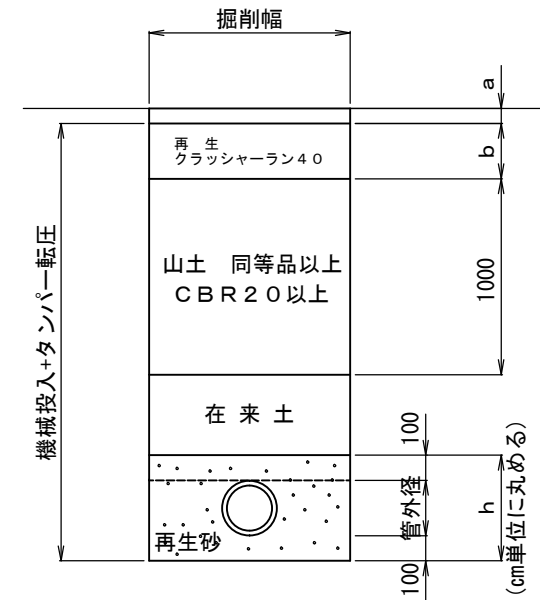
(市道、車道、アスファルト舗装 $t = 15$)

掘削標準断面図



採 用		
仮復旧種別	常温合材	密粒30%再生
	a=30	a=50
仮復旧碎石厚	b=280	b=260

埋戻標準断面図



・HPの場合、砂の土被りは0とする

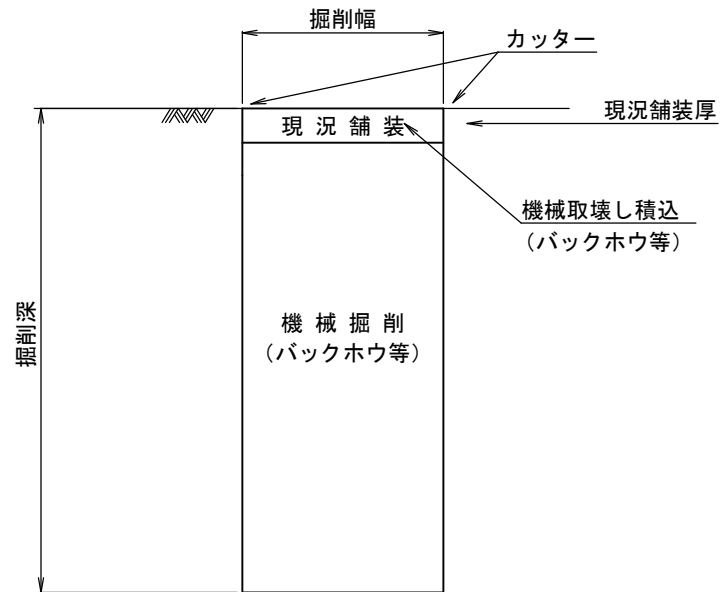
- ・埋戻土の転圧を充分行うこと。
- ・1日作業区間毎に仮復旧を行うこと。

図名	土工標準図	整理番号	1	0	1	0	8
----	-------	------	---	---	---	---	---

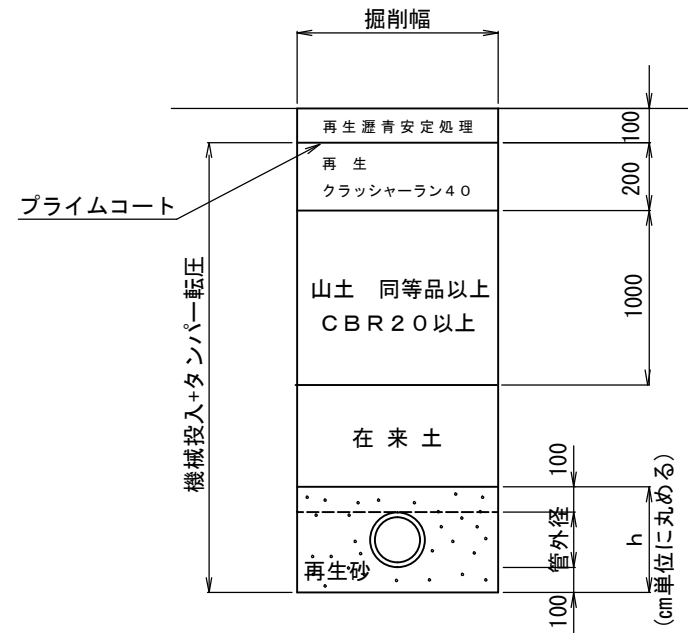
土工標準図

(市道、車道切削、アスファルト舗装 $t = 10$)

掘削標準断面図



埋戻標準断面図



・HPの場合、砂の土被りは0とする

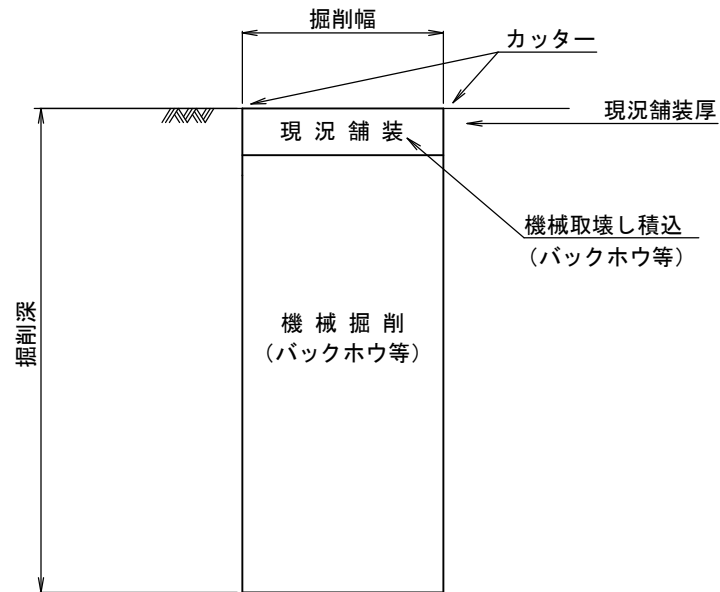
- ・埋戻土の転圧を充分行うこと。
- ・1日作業区間毎に仮復旧を行うこと。

図名	土工標準図	整理番号	1	0	1	0	9
----	-------	------	---	---	---	---	---

土工標準図

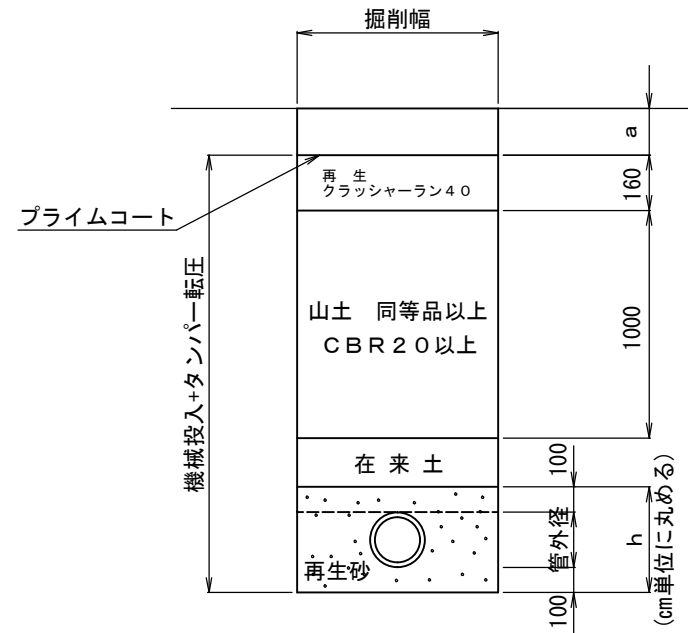
(市道、車道切削、アスファルト舗装 $t = 15$)

掘削標準断面図



仮復旧種別	再生密粒アスファルト $t=50$	$a=150$
	再生瀝青安定処理 $t=100$	

埋戻標準断面図



・HPの場合、砂の土被りは0とする

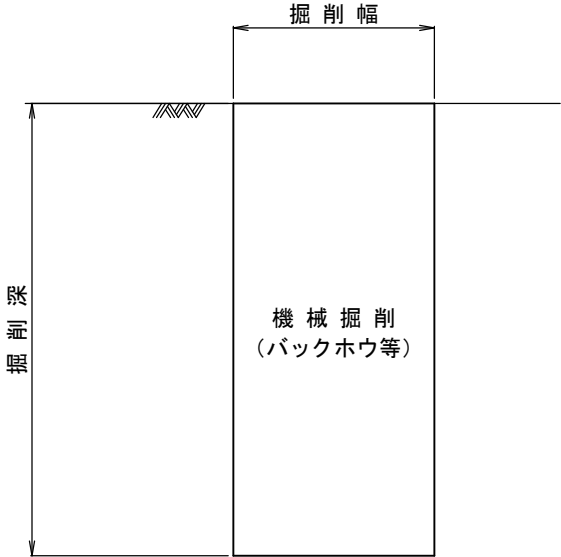
- ・埋戻土の転圧を充分行うこと。
- ・1日作業区間毎に仮復旧を行うこと。

図名	土工標準図					整理 番号	1	0	1	1	0
----	-------	--	--	--	--	----------	---	---	---	---	---

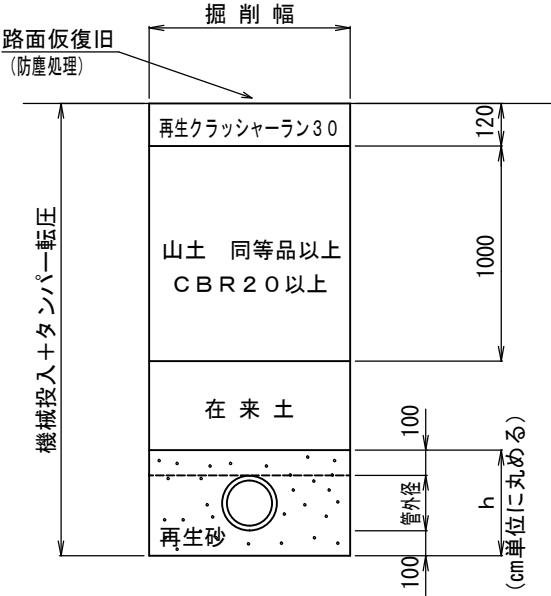
土工標準図

(市道、車道、防塵処理)

掘削標準断面図



埋戻標準断面図



・HPの場合、砂の土被りは0とする

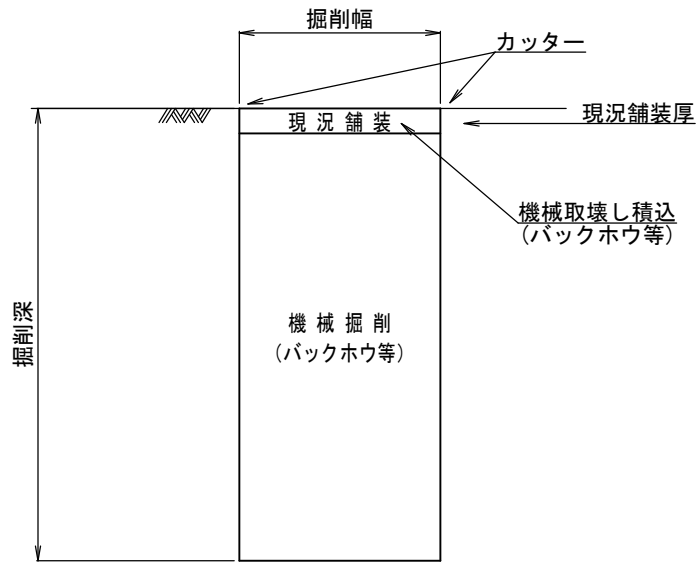
- ・埋戻土の転圧を充分行うこと。
- ・1日作業区間毎に仮復旧を行うこと。

図名	土工標準図	整理 番号	1	0	1	1	1
----	-------	----------	---	---	---	---	---

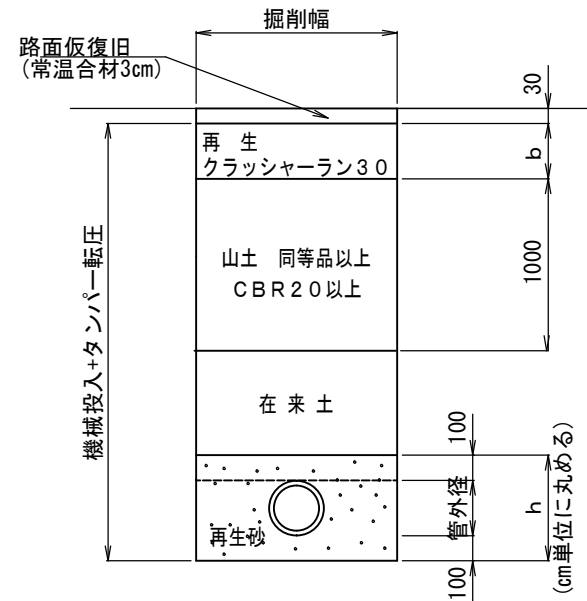
土工標準図

(市道，歩道，アスファルト舗装 $t = 3, 4$)

掘削標準断面図



埋戻標準断面図



・HPの場合、砂の土被りは0とする

- ・埋戻土の転圧を充分行うこと。
- ・1日作業区間毎に仮復旧を行うこと。

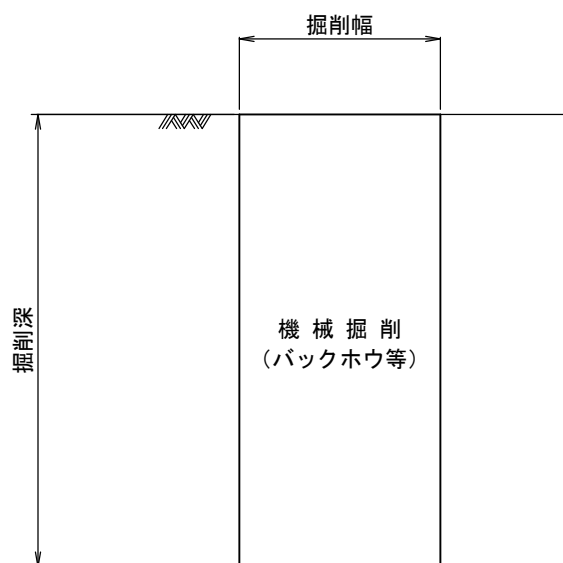
区 分	b	備 考
一 般 部	再生碎石	
	厚100mm	
乗 入 部	再生碎石	
	厚110mm	

図名	土工標準図	整理 番号	1	0	1	1	2
----	-------	----------	---	---	---	---	---

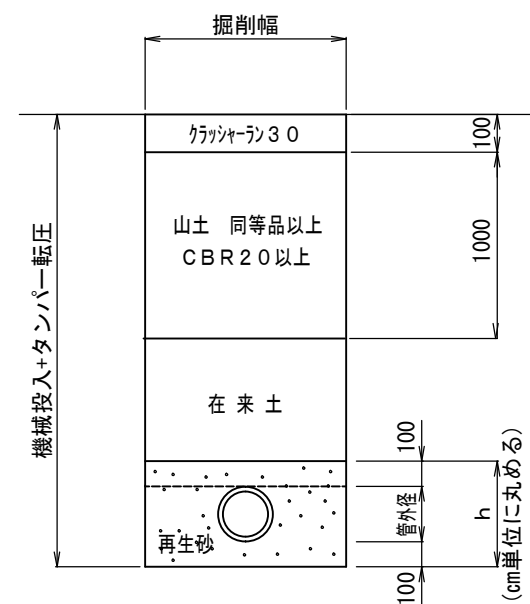
土工標準図

(市道，未舗装)

掘削標準断面図



埋戻標準断面図



・HPの場合、砂の土被りは0とする

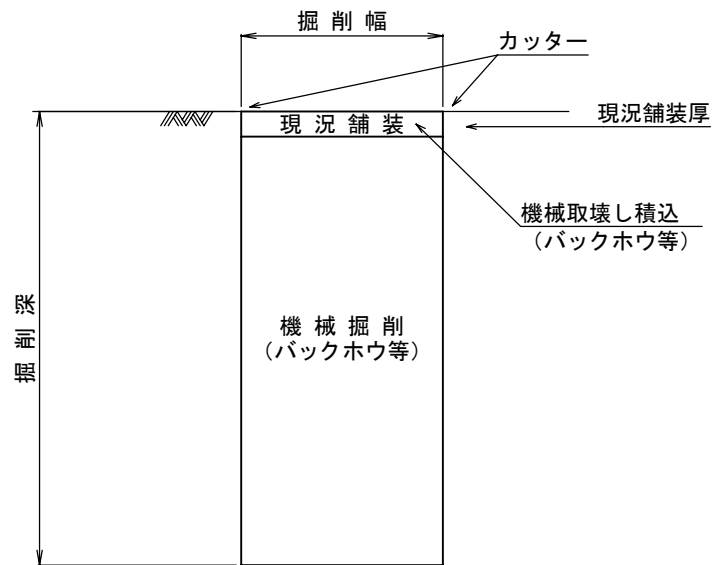
・埋戻土の転圧を充分行うこと。

図名	土工標準図	整理番号	1	0	1	1	3
----	-------	------	---	---	---	---	---

土工標準図

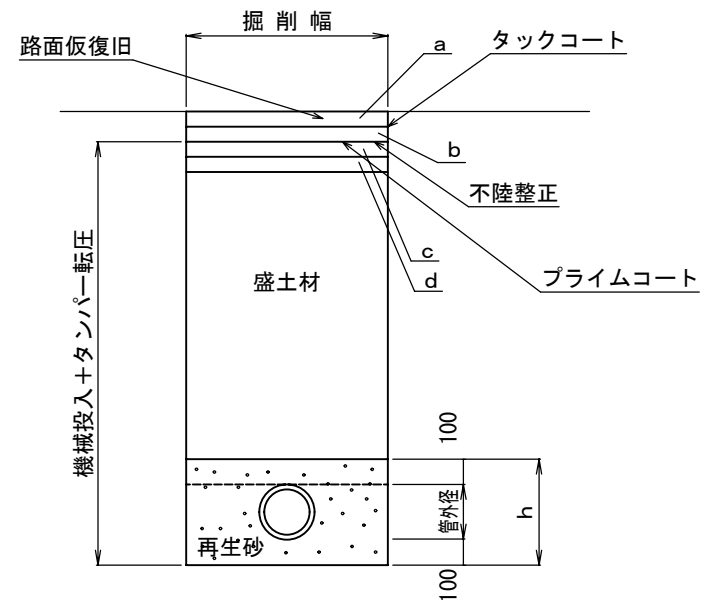
(国道，側道，アスファルト舗装 $t = 15$)

掘削標準断面図



採用	仮復旧厚	a	b	c	d
	$t = 15\text{cm}$	密粒30%再生 50	粗粒30%再生 100	M-40 100	C-40 100

埋戻標準断面図



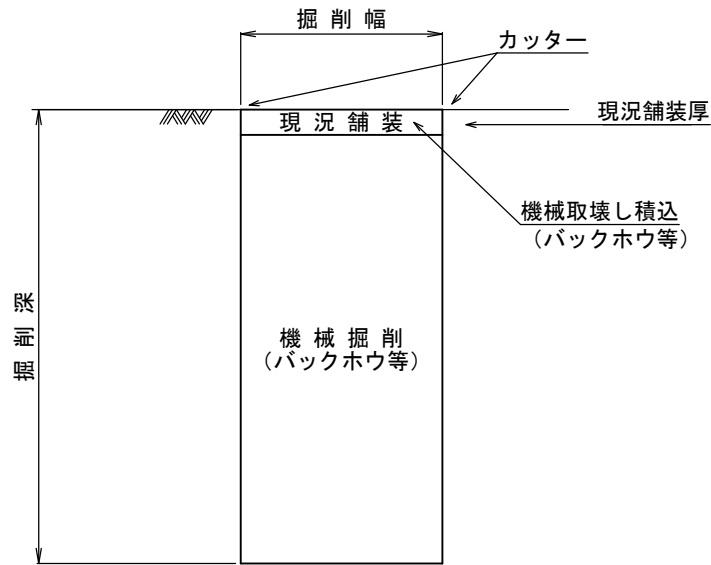
・HPの場合、砂の土被りは0とする

- ・埋戻土の転圧を充分行うこと。
- ・1日作業区間毎に仮復旧を行うことを原則とする。

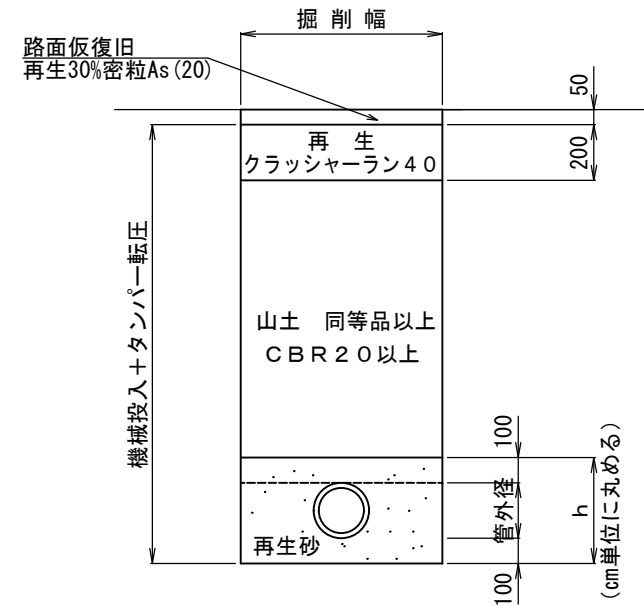
土工標準図

(国道，側道部，アスファルト舗装)

掘削標準断面図



埋戻標準断面図



・HPの場合、砂の土被りは0とする

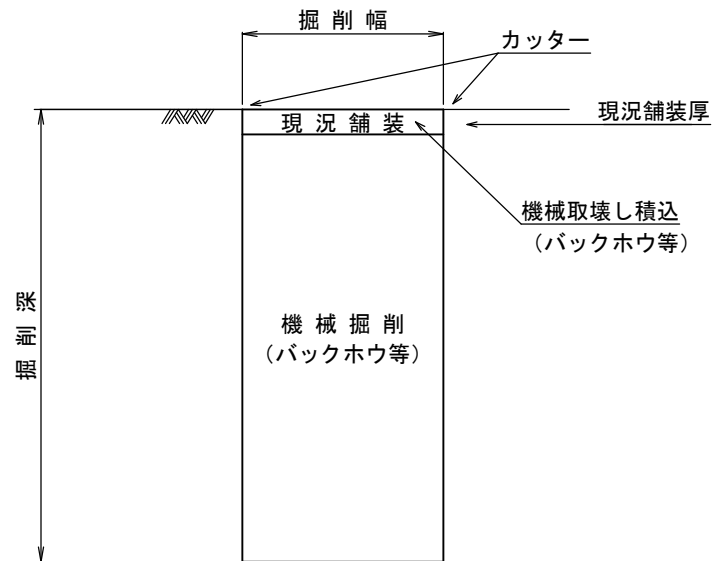
- ・埋戻土の転圧を充分行うこと。
- ・1日作業区間毎に仮復旧を行うこと。

図名	土工標準図	整理番号	1	0	1	1	5
----	-------	------	---	---	---	---	---

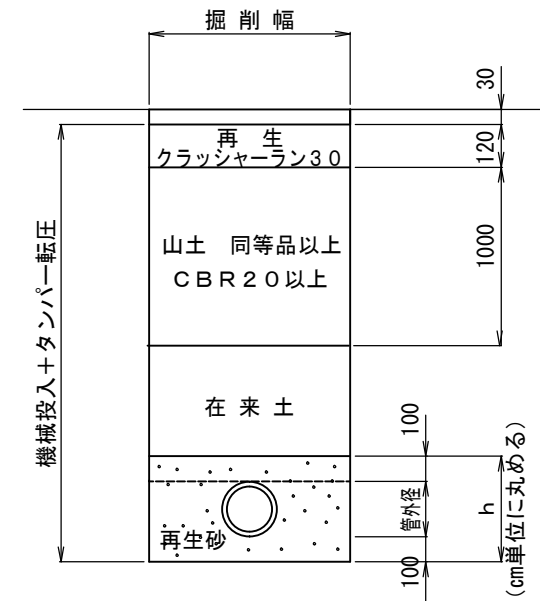
土工標準図

(市道，車道，アスファルト舗装 $t = 4$)

掘削標準断面図



埋戻標準断面図



・HPの場合、砂の土被りは0とする

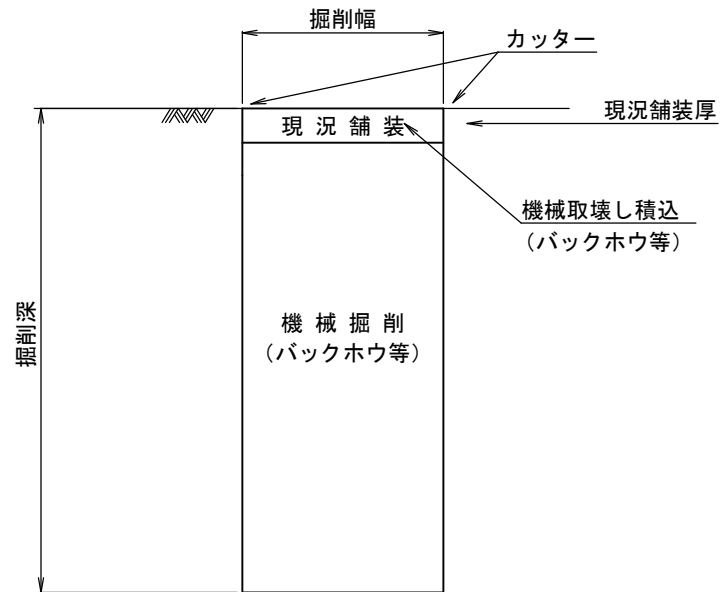
- ・埋戻土の転圧を充分行うこと。
- ・1日作業区間毎に仮復旧を行うこと。

図名	土工標準図	整理番号	1	0	1	3	0
----	-------	------	---	---	---	---	---

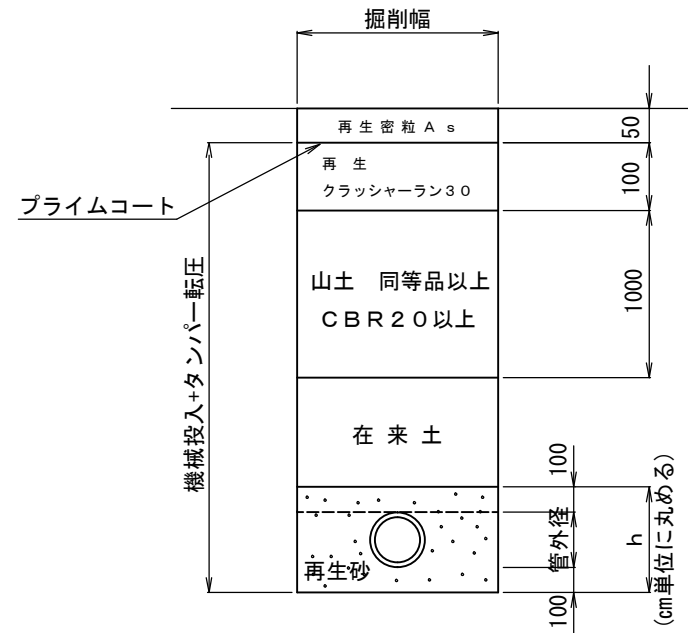
土工標準図

(市道、車道切削、アスファルト舗装 t = 5)

掘削標準断面図



埋戻標準断面図



・HPの場合、砂の土被りは0とする

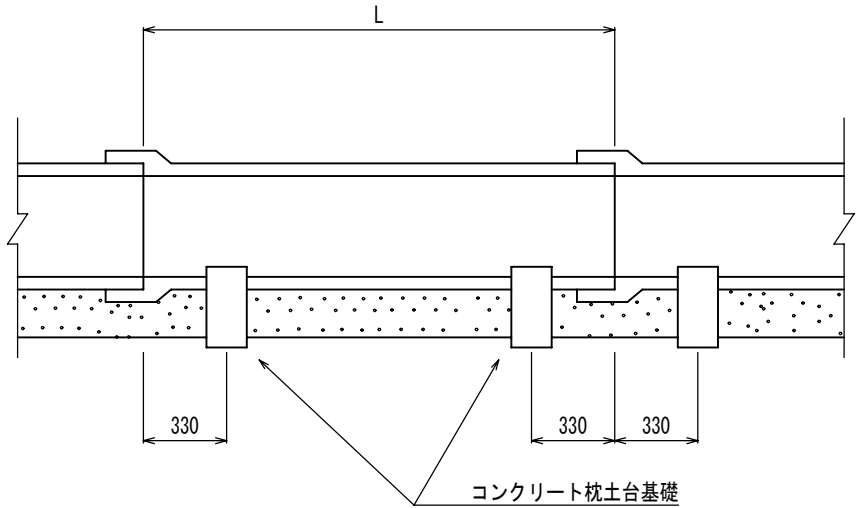
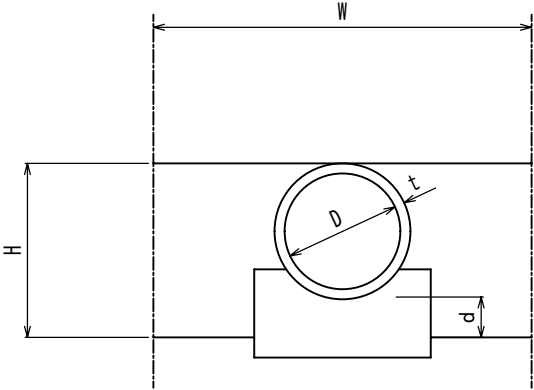
・埋戻土の転圧を充分行うこと。

・1日作業区間毎に仮復旧を行うこと。

図名	土工標準図					整理 番号	1	0	1	3	1
----	-------	--	--	--	--	----------	---	---	---	---	---

ヒューム管布設標準図

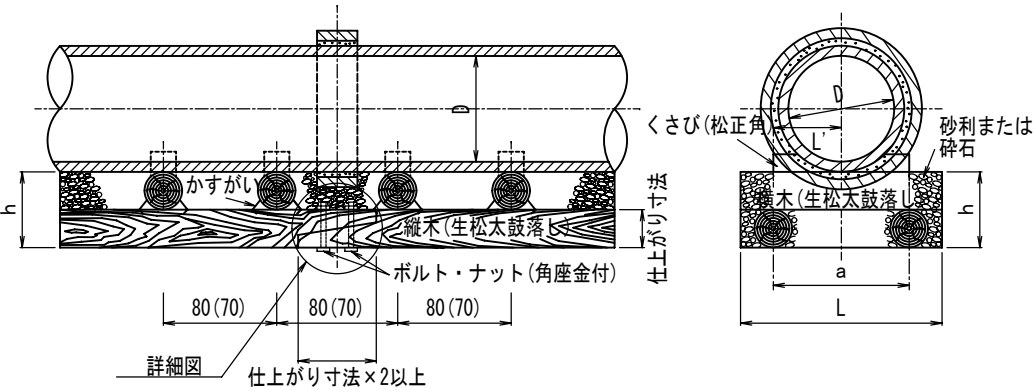
枕土台基礎



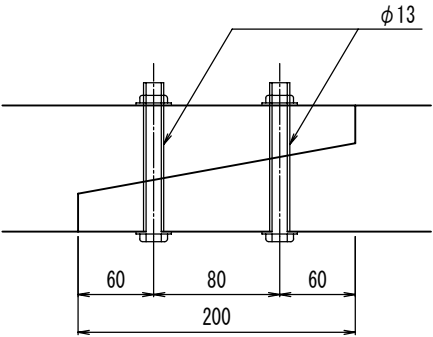
	D	t	管 外 径	L	d	H	管控除(A)	土台控除(B)	控除量 $(A + \frac{2B}{L})$
200	200	27	254	2000	100	0.35	0.051	0.007	0.058
250	250	28	306	2000		0.41	0.074	0.007	0.081
300	300	30	360	2000		0.46	0.102	0.007	0.109
350	350	32	414	2000		0.51	0.135	0.009	0.144
400	400	35	470	2430	150	0.62	0.173	0.013	0.184
450	450	38	526	2430		0.68	0.217	0.016	0.230
500	500	42	584	2430		0.73	0.268	0.023	0.287
600	600	50	700	2430		0.85	0.385	0.033	0.412
700	700	58	816	2430	200	1.02	0.523	0.050	0.564
800	800	66	932	2430		1.13	0.682	0.067	0.737
900	900	75	1050	2430		1.20	0.866		

ヒューム管布設標準図

はしご胴木基礎



① 詳細図



() 内数値は長さ 2, 0 0 0 mm 管

はしご胴木基礎材料表

(1m当り)

内 径 (mm)	種 目 形 状	生松太鼓落し (横木材)			生松太鼓落し (縦木材)			松正割 (角)		
		長さ	末口	仕上げ	長さ	末口	仕上げ	長さ	末口	仕上げ
250~350		m	cm	cm	m	cm	cm	m	cm	cm
		1.8	10.5	7.5	4.0	12.0	9.0	4.0	6.0	6.0
400		0.0075	m ³		0.0304	m ³		0.0014	m ³	
		1.8	12.0	9.0	4.0	12.0	9.0	4.0	6.0	6.0
450~600		0.0080	m ³		0.0304	m ³		0.0012	m ³	
		1.8	12.0	9.0	4.0	12.0	9.0	4.0	6.0	6.0
700~1,000		0.0107	m ³		0.0304	m ³		0.0016	m ³	
		1.8	15.0	12.0	4.0	15.0	12.0	4.0	7.5	7.5
		0.0253	m ³		0.0479	m ³		0.0040	m ³	

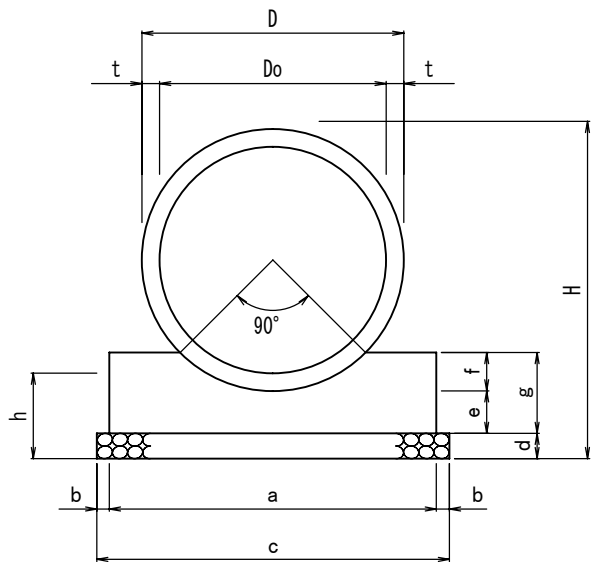
はしご胴木基礎寸法表

内 径 (D) (mm)	縦木間隔 (a) (mm)	基礎幅 (L) (mm)	基礎厚 (h) (mm)	くさび長さ (L') (mm)
200~350	300	450	165	150
400	300	450	180	150
450~650	400	600	180	200
700~1,000	600	900	240	300

ヒューム管布設標準図

90° コンクリート

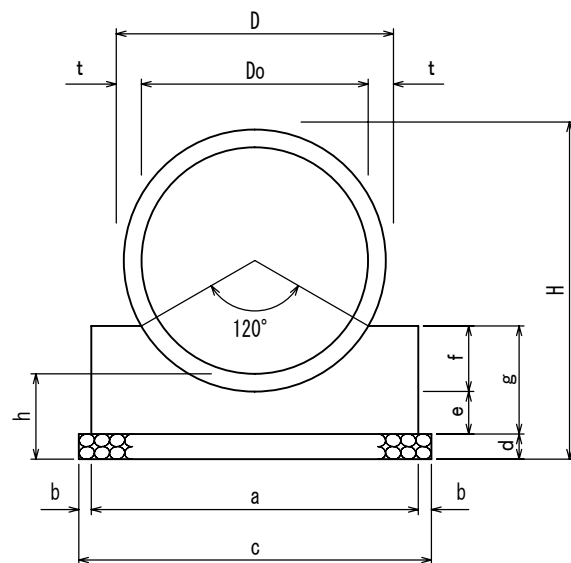
寸 法 及 材 料 表



各 部 寸 法												単位 mm		材料表 10m当り	
Do	t	D	a	b	c	d	e	f	g	h	H	コンクリート 18-8-40		砕 石 RC-40	
200	27	254	450	100	650	150	100	37	137	277	504	0.57 m ³	0.98 m ³	0.57 m ³	0.98 m ³
250	28	306	450		650			45	145	278	556				
300	30	360	500		700			53	153	280	610				
350	32	414	550		750			61	161	282	664				
400	35	470	550		750		150	69	219	335	770	1.05	1.13	1.05	1.13
450	38	526	600		800			77	227	338	826				
500	42	584	650		850			86	236	342	884				
600	50	700	750		950			103	253	350	1000				
700	58	816	850		1050		200	120	320	408	1166	2.24	1.58	2.24	1.58
800	66	932	950		1150			136	336	416	1282				
900	75	1050	1050		1250			154	354	425	1400				

ヒューム管布設標準図

120° コンクリート

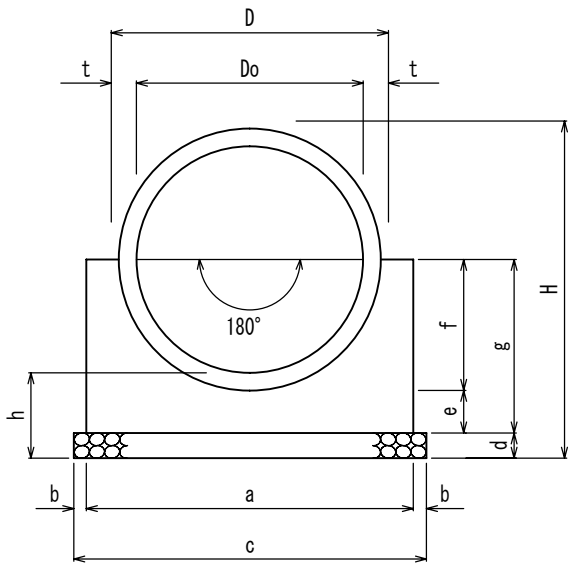


寸法及材料表

各部寸法												単位 mm		材料表 10m当り	
Do	t	D	a	b	c	d	e	f	g	h	H			コンクリート 18-8-40	砕石 RC-40
200	27	254	450	100	650	150	100	64	164	277	504	0.64	m ³	0.98	m ³
250	28	306	500		700			77	177	278	556	0.73		1.05	
300	30	360	550		750			90	190	280	610	0.84		1.13	
350	32	414	600		800			104	204	282	664	0.94		1.20	
400	35	470	650		850		150	118	268	335	770	1.39		1.28	
450	38	526	700		900			132	282	338	826	1.53		1.35	
500	42	584	750		950			146	296	342	884	1.68		1.43	
600	50	700	850		1050			175	325	350	1000	1.98		1.58	
700	58	816	950		1150		200	204	404	408	1166	2.77		1.73	
800	66	932	1100		1300			233	433	416	1282	3.37		1.95	
900	75	1050	1250		1450			263	463	425	1400	4.00		2.18	

ヒューム管布設標準図

180° コンクリート

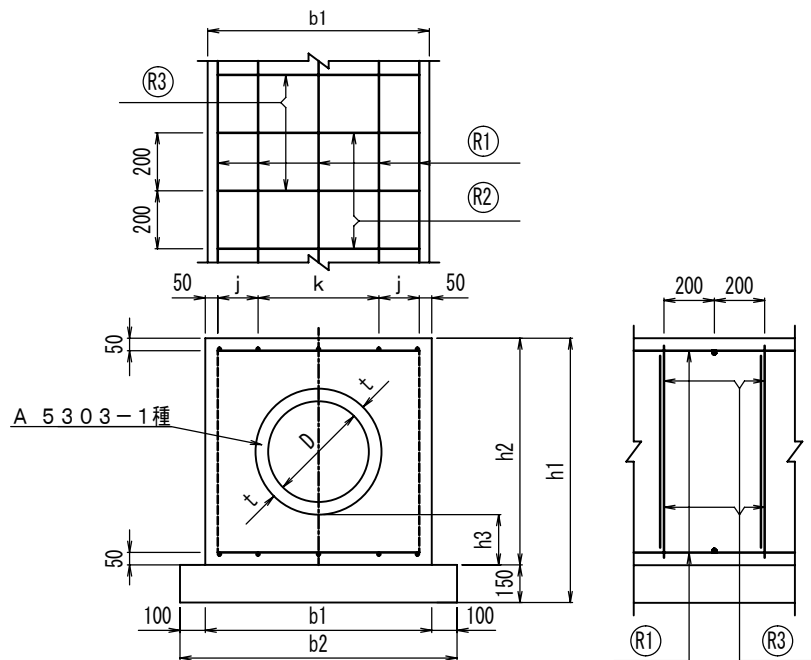


寸法及材料表

各部寸法												単位 mm		材料表 10m当り	
Do	t	D	a	b	c	d	e	f	g	h	H	コンクリート 18-8-40		砕石 RC-40	
200	27	254	500	100	700	150	100	127	227	277	504	0.88 m ³		1.05 m ³	
250	28	306	550		750			153	253	278	556	1.01		1.13	
300	30	360	600		800			180	280	280	610	1.16		1.20	
350	32	414	650		850			207	307	282	664	1.31		1.28	
400	35	470	700		900		150	235	385	335	770	1.81		1.35	
450	38	526	750		950			263	413	338	826	1.99		1.43	
500	42	584	800		1000			292	442	342	884	2.17		1.50	
600	50	700	900		1100			350	500	350	1000	2.53		1.65	
700	58	816	1050		1250		200	408	608	408	1166	3.70		1.88	
800	66	932	1200		1400			466	666	416	1282	4.49		2.10	
900	75	1050	1350		1550			525	725	425	1400	5.32		2.33	

ヒューム管布設標準図

360° コンクリート φ500以下



記号	寸法表 単位 (mm)									材料表 (10m当たり)			
	D	t	b1	b2	h1	h2	h3	j	K	コンクリート(m³)	基礎材(m³)	型わく(m²)	コンクリート管本数
P3-D200	200	27	460	660	610	460	100	—	360(=2×180)	1.609	0.990	9.200	5.0
P3-D250	250	28	520	720	670	520	100	—	420(=2×210)	1.969	1.080	10.400	5.0
P3-D300	300	30	560	760	710	560	100	—	460(=2×230)	2.118	1.140	11.200	5.0
P3-D350	350	32	620	820	770	620	100	160	200	2.498	1.230	12.400	5.0
P3-D400	400	35	780	980	930	780	150	140	400(=2×200)	4.349	1.470	15.600	4.1
P3-D450	450	38	840	1040	990	840	150	170	400(=2×200)	4.883	1.560	16.800	4.1
P3-D500	500	42	900	1100	1050	900	150	—	800(=4×200)	5.421	1.650	18.000	4.1

記 号	縦方向鉄筋 (R1) (1m当たり)				横方向鉄筋 (R2) (1m当たり)					横方向鉄筋 (R3) (1m当たり)					
	鉄筋径	本 数	単位重量(kg/m)	重 量 (kg)	鉄筋径	本 数	1本当たり長さ (mm)	単位重量(kg/m)	重 量 (kg)	鉄筋径	本 数	1本当たり長さ (mm)	単位重量(kg/m)	重 量 (kg)	形状
P3-D200	D13	6	0.995	5.970	D13	5	360	0.995	1.791	D13	5	1240	0.995	6.169	□
P3-D250	D13	6	0.995	5.970	D13	5	420	0.995	2.090	D13	5	1360	0.995	6.766	□
P3-D300	D13	6	0.995	5.970	D13	5	460	0.995	2.289	D13	5	1440	0.995	7.164	□
P3-D350	D13	8	0.995	7.960	D13	5	520	0.995	2.587	D13	5	1560	0.995	7.761	□
P3-D400	D13	10	0.995	9.950	D13	5	680	0.995	3.383	D13	5	1880	0.995	9.353	□
P3-D450	D13	10	0.995	9.950	D13	5	740	0.995	3.682	D13	5	2000	0.995	9.950	□
P3-D500	D16	10	1.560	15.600	D13	5	800	0.995	3.980	D13	5	2120	0.995	10.547	□

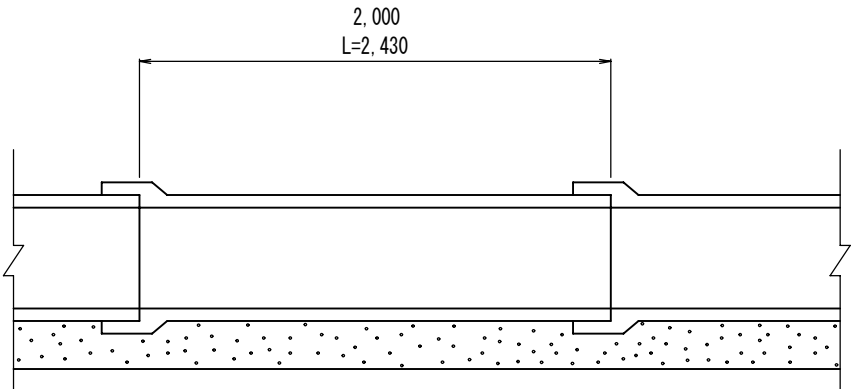
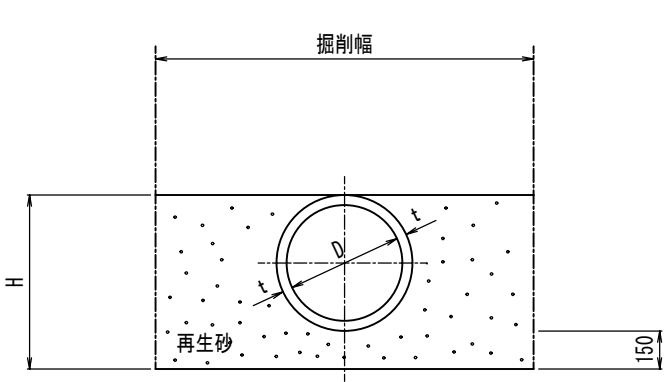
360° コンクリート $\phi 600$ 以上



記 号	縦方向鉄筋 (R1) (1m当たり)				横方向鉄筋 (R3) (1m当たり)					
	鉄筋径	本 数	単位重量(kg/m)	重 量(kg)	鉄筋径	本 数	1本当たり長さ(mm)	単位重量(kg/m)	重 量(kg)	形状
P4-D600	D13	20	0.995	19.900	D13	10	2320	0.995	23.084	□
P4-D700	D13	24	0.995	23.880	D13	10	2760	0.995	27.462	□
P4-D800	D16	28	1.560	43.680	D13	10	3000	0.995	29.850	□
P4-D900	D16	28	1.560	43.680	D13	10	3240	0.995	32.238	□
P4-D1000	D16	32	1.560	49.920	D13	10	3480	0.995	34.626	□

ヒューム管布設標準図

砂 基 礎



D mm	T mm	H m
300	30	0.510
350	32	0.564
400	35	0.620
450	38	0.676
500	42	0.734
600	50	0.850

図名

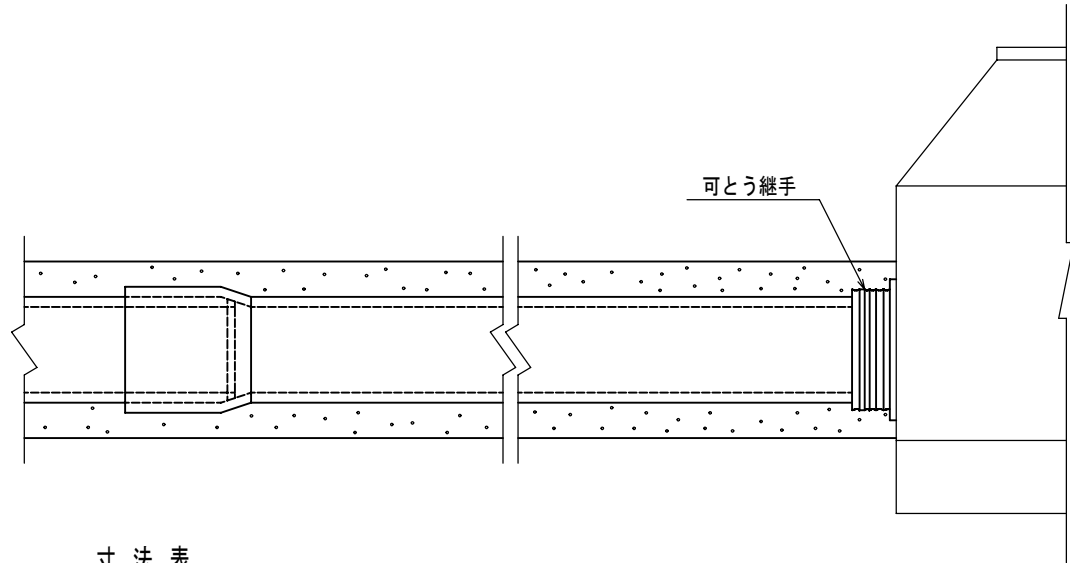
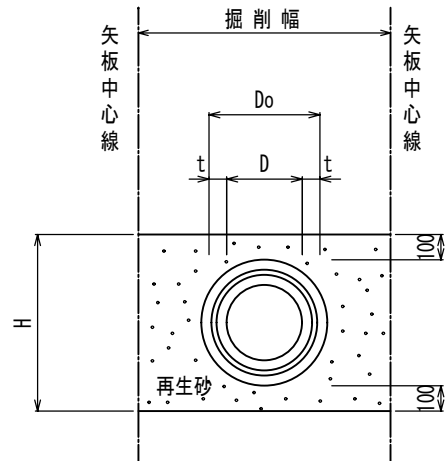
ヒューム管布設標準図

整理
番号

1 0 2 0 8

硬質塩化ビニル管布設図 (VU)

砂基礎



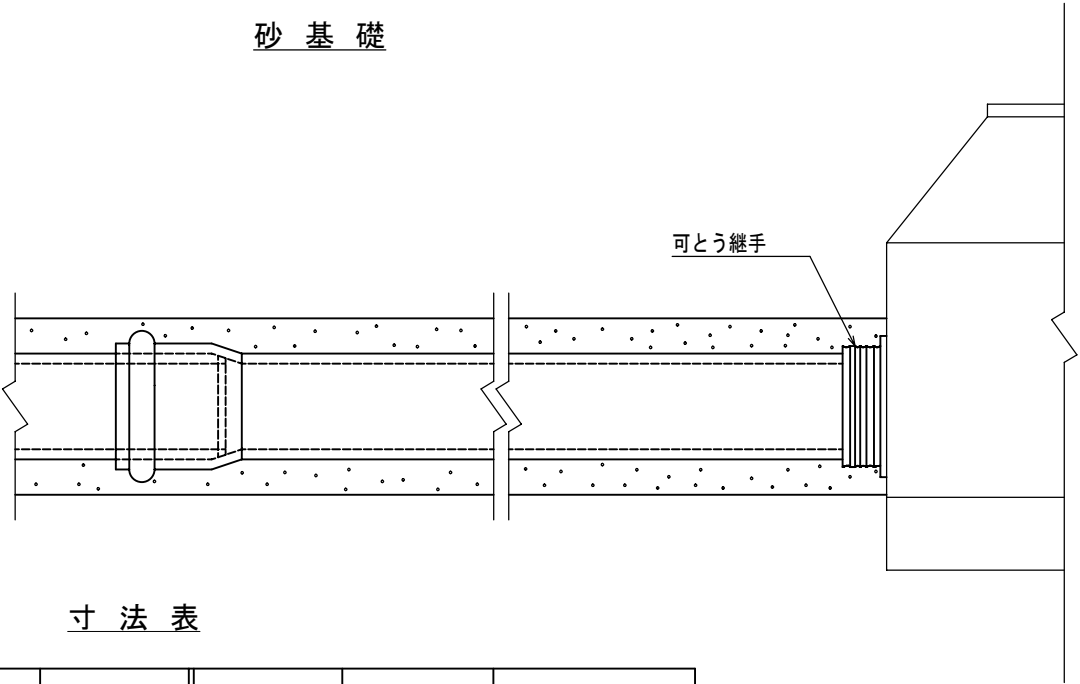
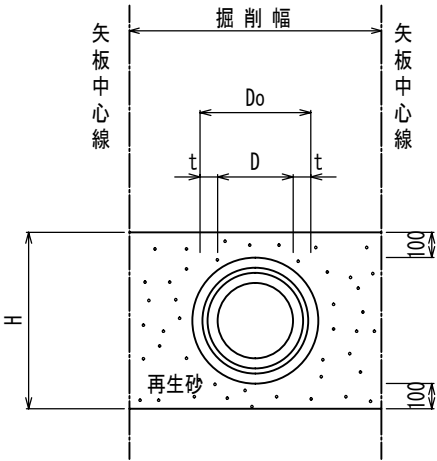
寸法表

管 径	D mm	Do mm	t mm	H m	管控除(A) m ³ /m	備 考
150	154	165	5.5	0.37	0.021	
200	202	216	7	0.42	0.037	
250	251	267	8	0.47	0.056	
300	300	318	9	0.52	0.079	

- ※可とう継手は次の4項目を満たすものとする。
- (1) 外水圧で0.1MPa (1kgf/cm²) に対し止水性を有すること。
 - (2) 内水圧で0.05MPa (0.5kgf/cm²) に対し止水性を有すること。
 - (3) 屈曲角度10° において、外水圧で0.1MPa (1kgf/cm²) に対し止水性を有すること。
 - (4) 施工が容易であること。

硬質塩化ビニル管布設図 (VU)

砂 基 礎



寸 法 表

ゴム輪受口片受け直管

管 径	D mm	Do mm	t mm	H m	管控除(A) m ³ /m	備 考
150	154	165	5.5	0.37	0.021	
200	202	216	7	0.42	0.037	
250	251	267	8	0.47	0.056	
300	300	318	9	0.52	0.079	

※可とう継手は次の4項目を満たすものとする。

- (1) 外水圧で0.1MP a (1kgf/cm2) に対し止水性を有すること。
- (2) 内水圧で0.05MP a (0.5kgf/cm2) に対し止水性を有すること。
- (3) 屈曲角度10° において、外水圧で0.1MP a (1kgf/cm2) に対し止水性を有すること。
- (4) 施工が容易であること。

図名

硬質塩化ビニル管布設図

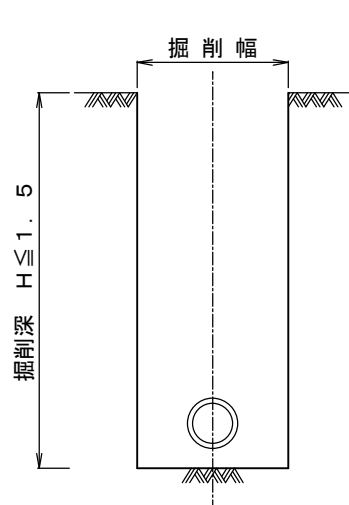
整理
番号

1 0 3 0 2

土留工

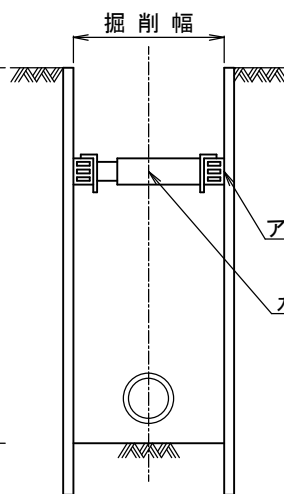
(参考図)

素掘り



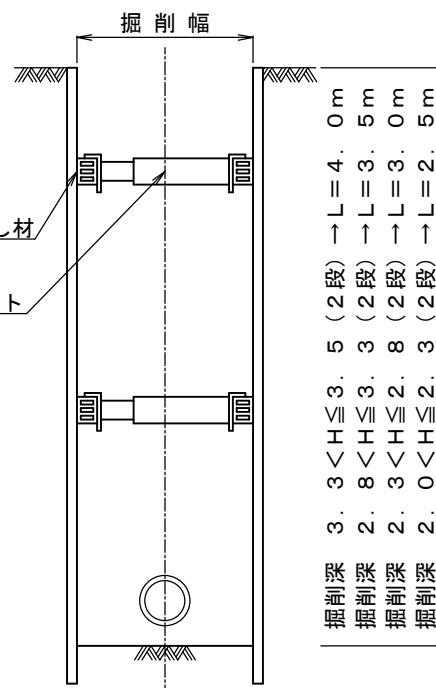
軽量鋼矢板 L=1.5m, 2.0m, 2.5m (建込)

掘削深 1.8 < H ≤ 2.0 (1段) → L=2.5m
掘削深 1.3 < H ≤ 1.8 (1段) → L=2.0m
掘削深 H ≤ 1.3 (1段) → L=1.5m



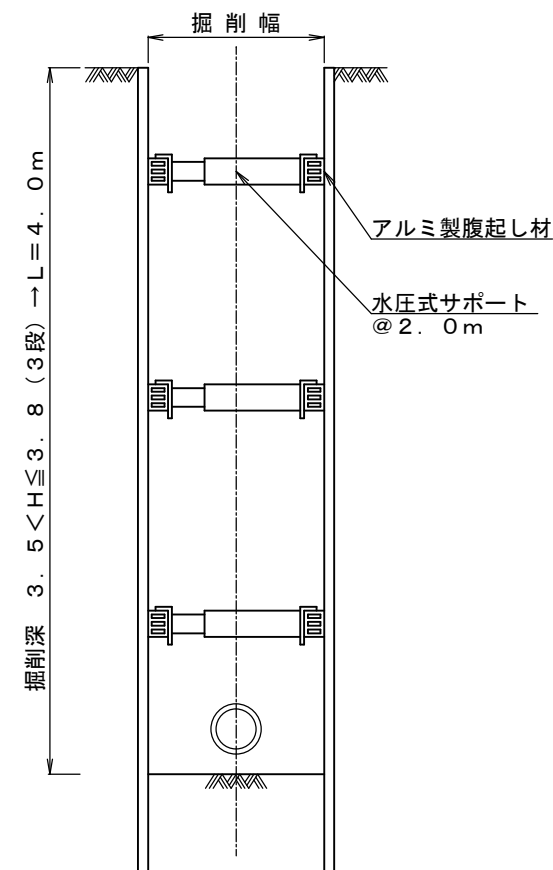
アルミ製腹起し材
水圧式サポート
@ 2.0m

軽量鋼矢板 L=2.5m, 3.0m, 3.5m, 4.0m (建込)



掘削深 3.3 < H ≤ 3.5 (2段) → L=4.0m
掘削深 2.8 < H ≤ 3.3 (2段) → L=3.5m
掘削深 2.3 < H ≤ 2.8 (2段) → L=3.0m
掘削深 2.0 < H ≤ 2.3 (2段) → L=2.5m

軽量鋼矢板 L=4.0m (建込)



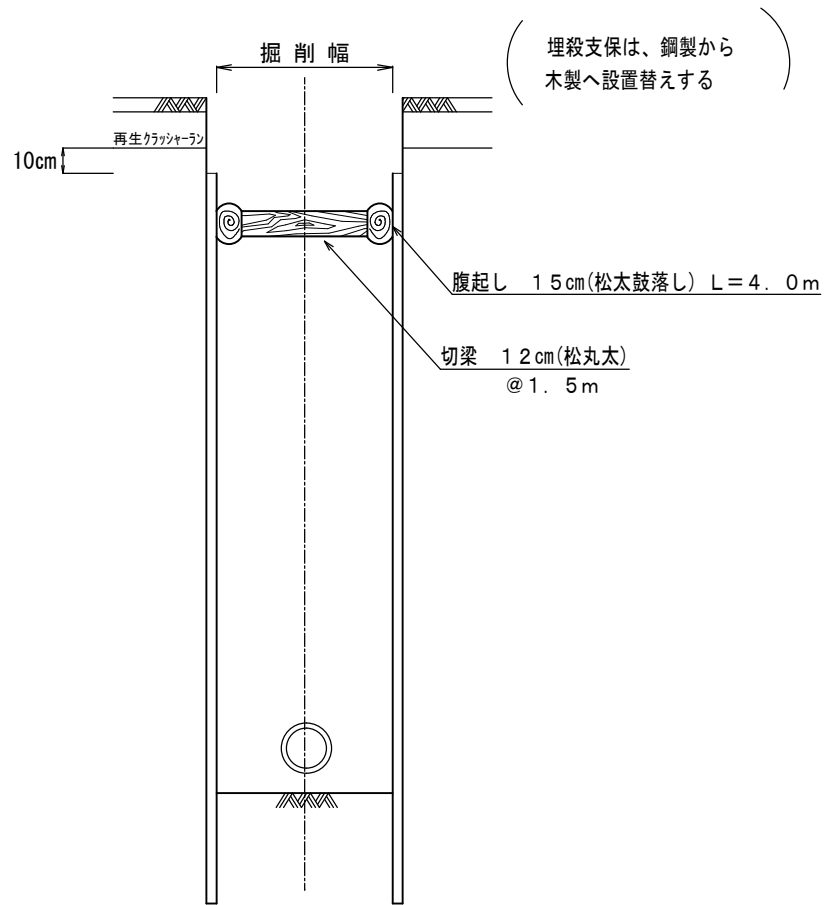
アルミ製腹起し材
水圧式サポート
@ 2.0m

図名	土留工 (軽量鋼矢板)	整理 番号	1	0	4	0	1
----	-------------	----------	---	---	---	---	---

土留工

(残置)

轻量鋼矢板

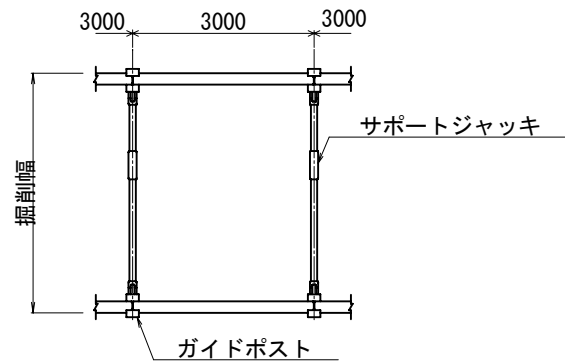


図名	土留工	整理 番号	1	0	4	0	2
----	-----	----------	---	---	---	---	---

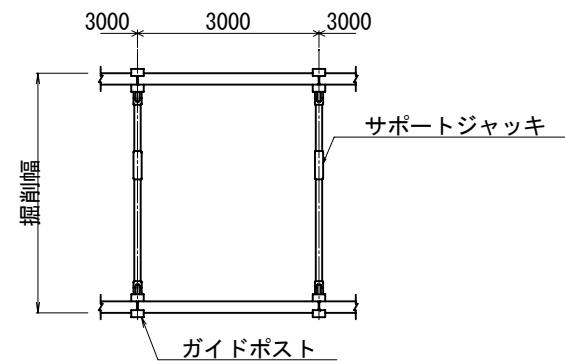
土 留 工

(参考図)

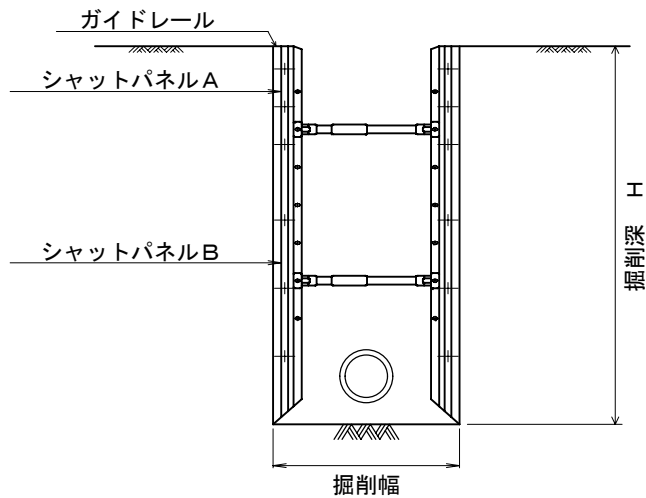
平面図
($1.5\text{m} < H \leq 3.5\text{m}$)



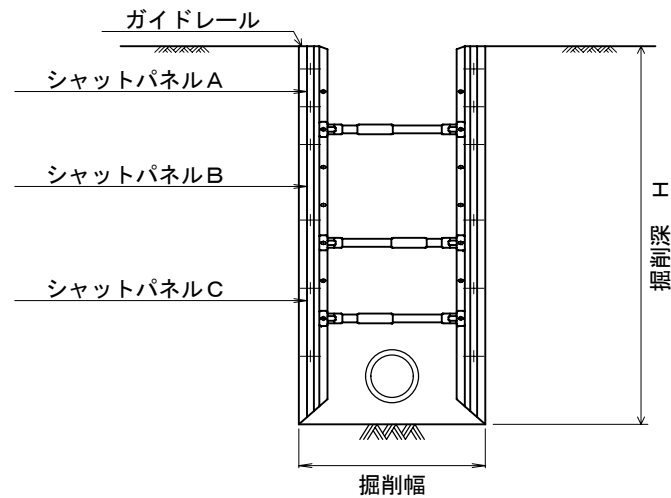
平面図
($3.5\text{m} < H \leq 4.0\text{m}$)



断面図
($1.5\text{m} < H \leq 3.5\text{m}$)



断面図
($3.5\text{m} < H \leq 4.0\text{m}$)

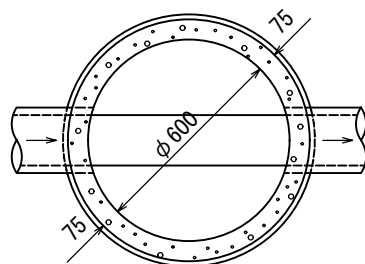


土留工の適用範囲
(建込み簡易土留)

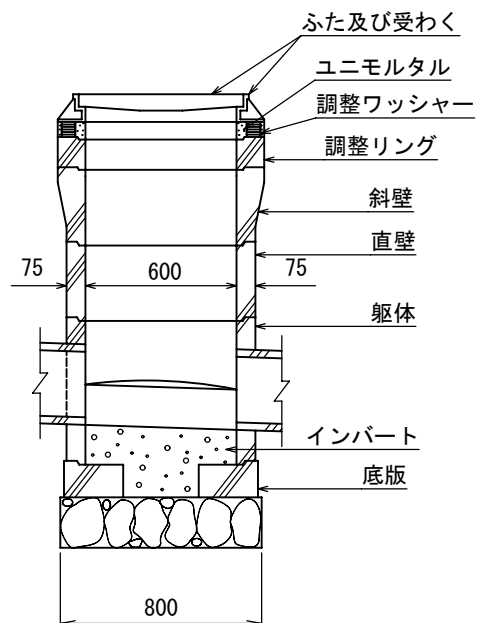
平均掘削深 H (m)	ハール長 (m)
$1.50 < H \leq 2.00$	H=2.00
$2.00 < H \leq 2.50$	H=2.50
$2.50 < H \leq 3.00$	H=3.00
$3.00 < H \leq 3.50$	H=3.50
$3.50 < H \leq 4.00$	H=4.00

組立 Y 号人孔標準構造図

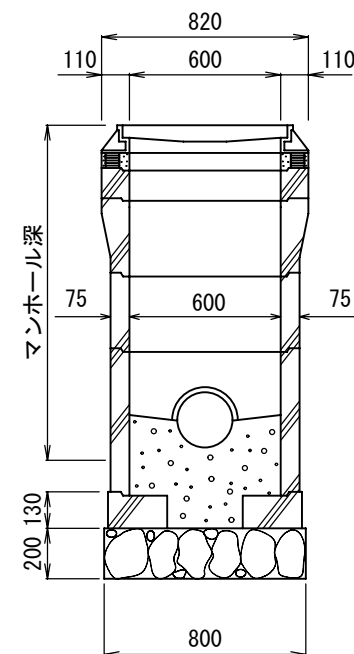
平面図



縦断面図



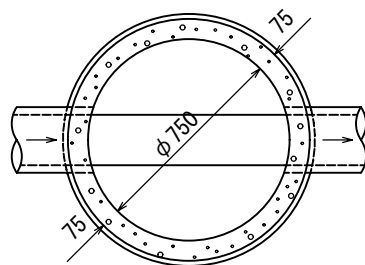
横断面図



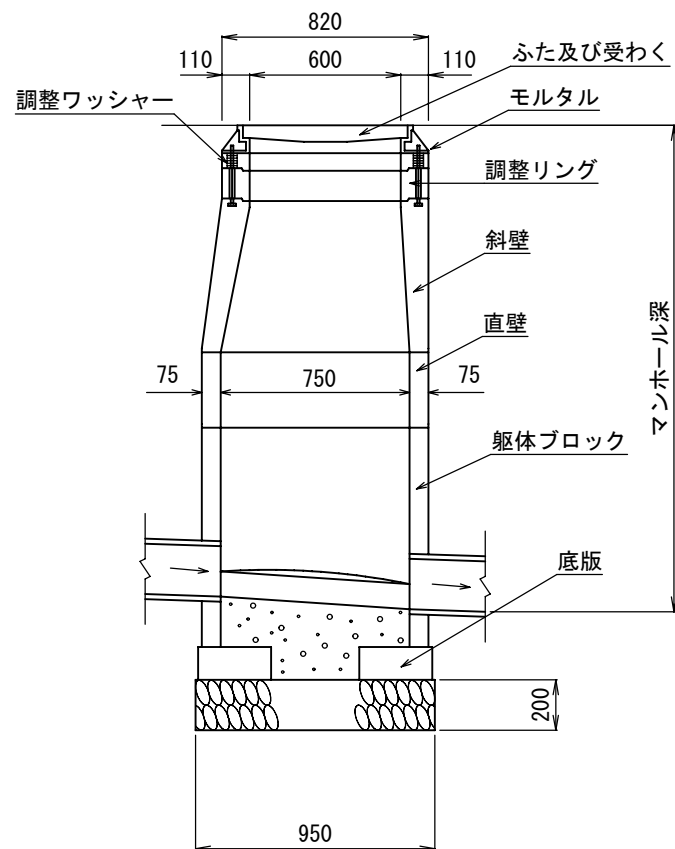
図名	組立 Y 号人孔標準構造図	整理 番号	2	0	1	0	2
----	---------------	----------	---	---	---	---	---

組立 0 号人孔標準構造図

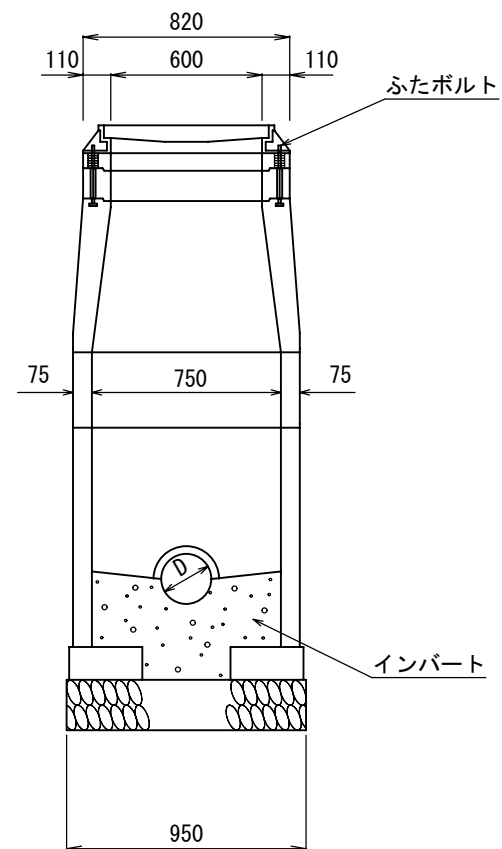
平面図



縦断面図



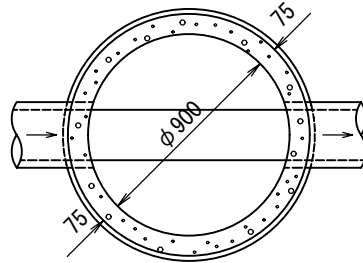
横断面図



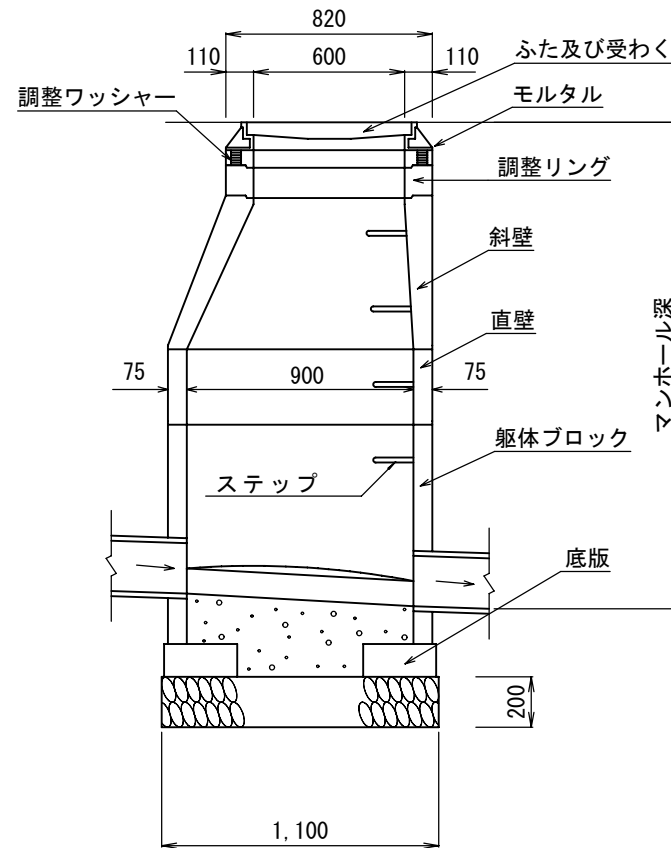
図名	組立 0 号人孔標準構造図	整理 番号	2	0	1	0	3
----	---------------	----------	---	---	---	---	---

組立 1 号人孔標準構造図

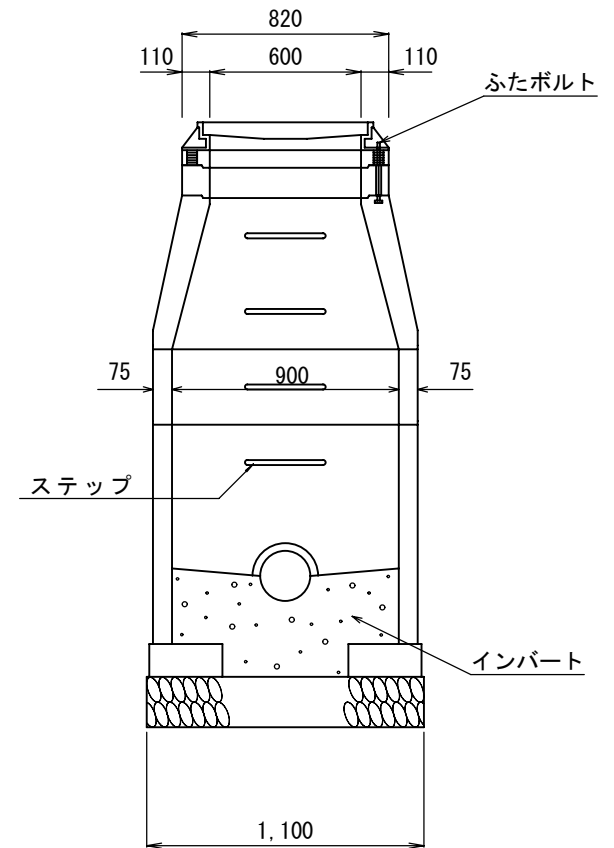
平面図



縦断面図



横断面図

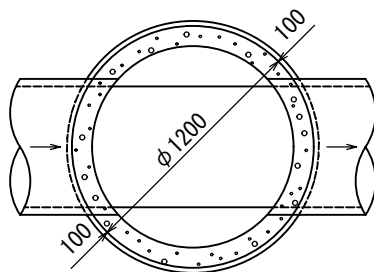


* 人孔深が1.5m未満の場合はステップをつけない。

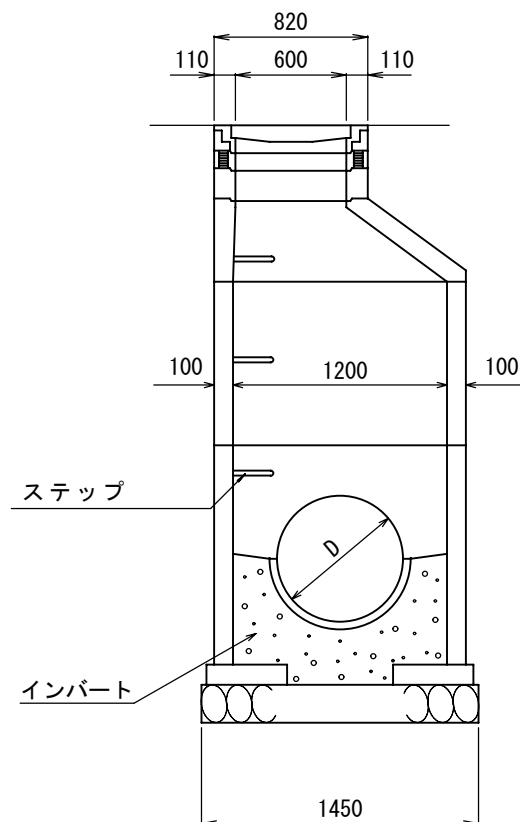
図名	組立 1 号人孔標準構造図	整理 番号	2	0	1	0	4
----	---------------	----------	---	---	---	---	---

組立 2 号人孔標準構造図

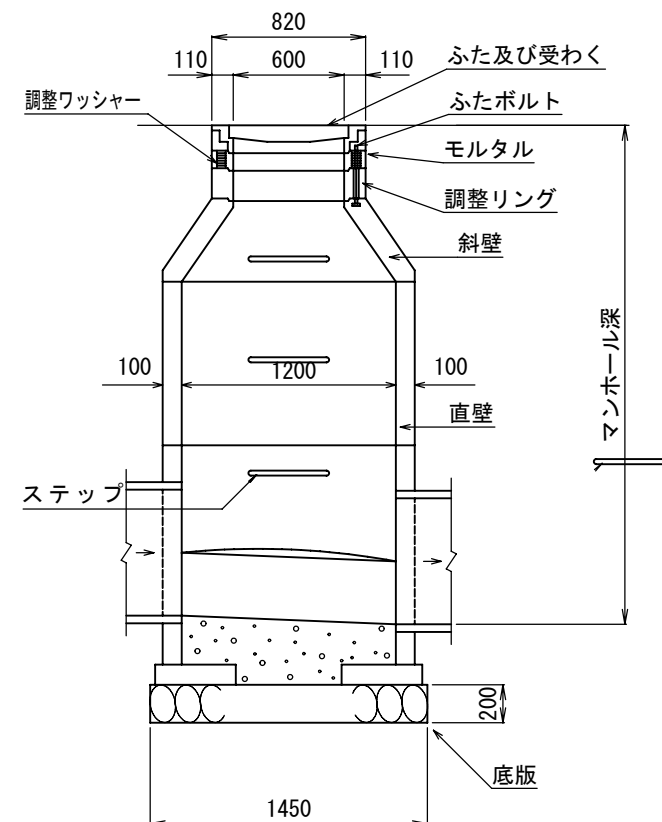
平面図



横断面図



縦断面図



* 人孔深が1.5m未満の場合はステップをつけない。

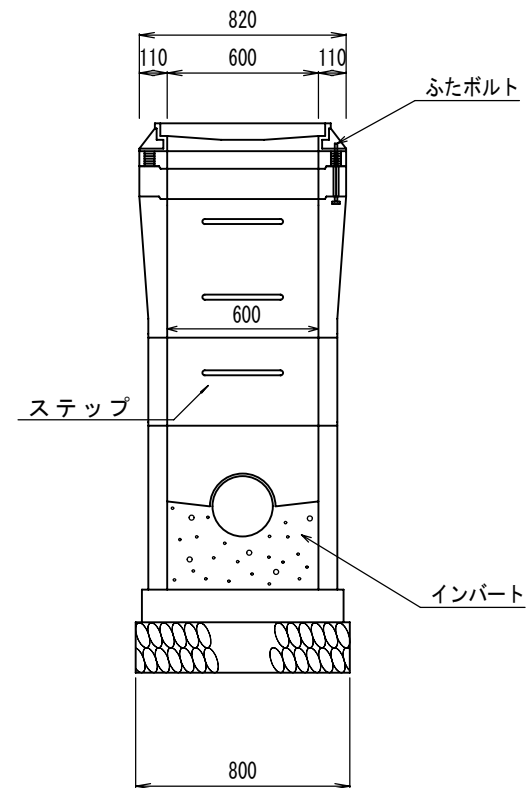
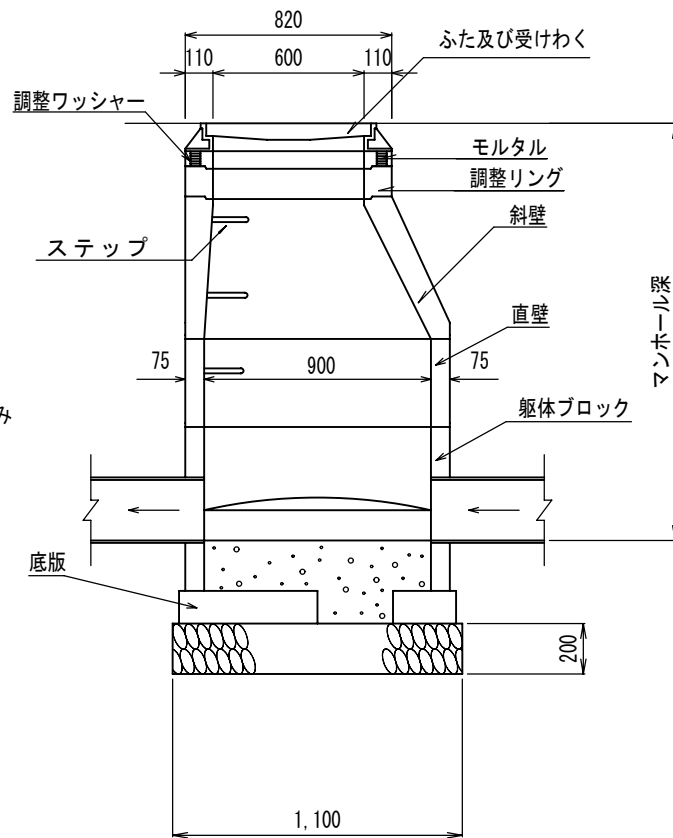
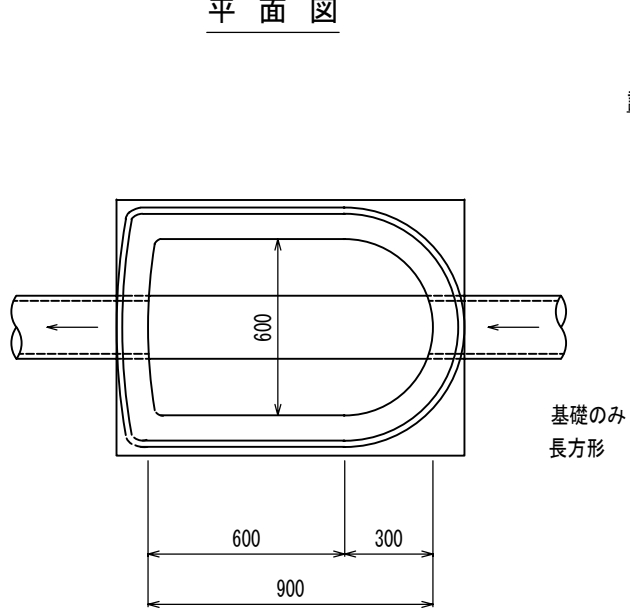
図名	組立 2 号人孔標準構造図	整理 番号	2	0	1	0	5
----	---------------	----------	---	---	---	---	---

組立特殊 1 号マンホール標準構造図

縦断面図

横断面図

平面图



* 人孔深が1.5m未満の場合はステップ[°]をつけない。

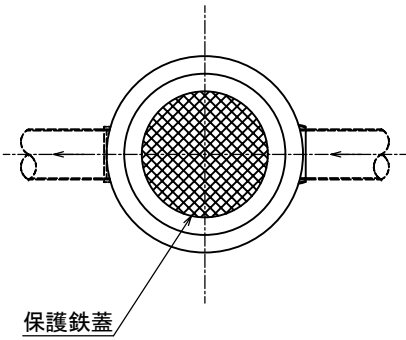
図名	組立特殊 1 号 マンホール標準構造図	整理 番号	2	0	1	0	6
----	------------------------	----------	---	---	---	---	---

小口径塩ビマス

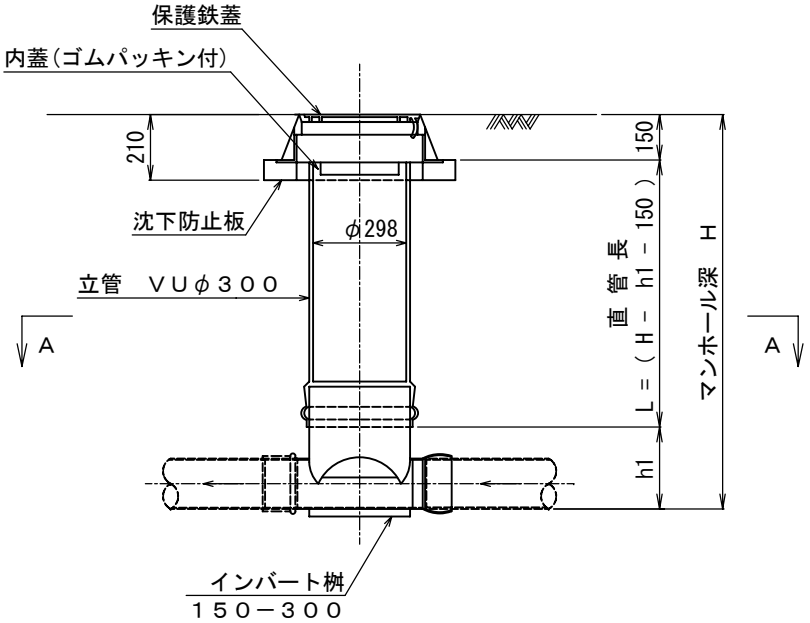
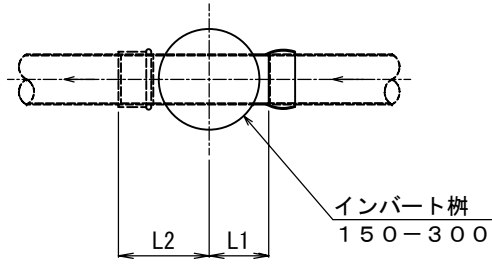
本管径 φ150

断面図

平面図



A - A



図名

小口径塩ビマス

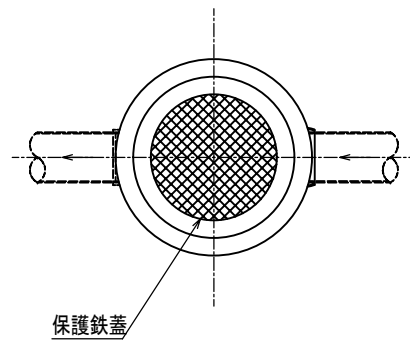
整理
番号

2 0 1 0 7

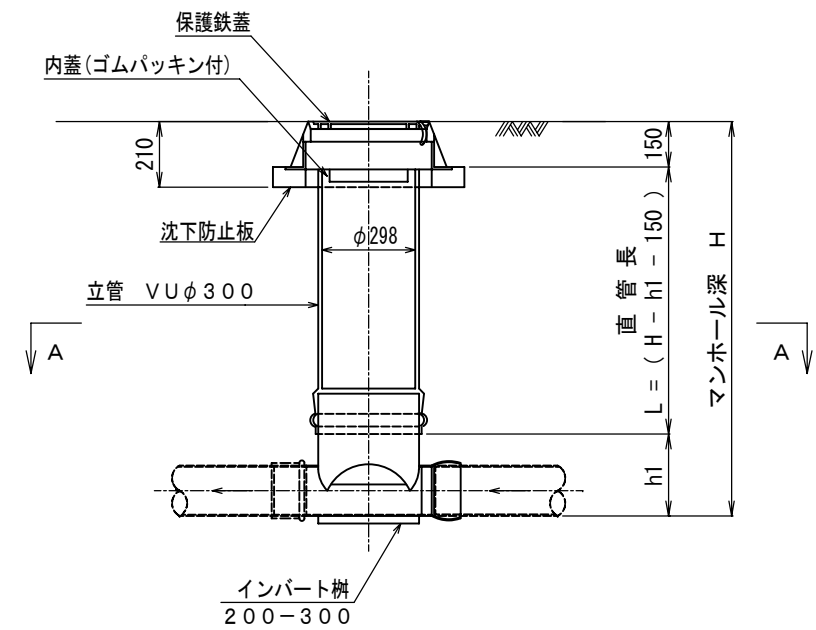
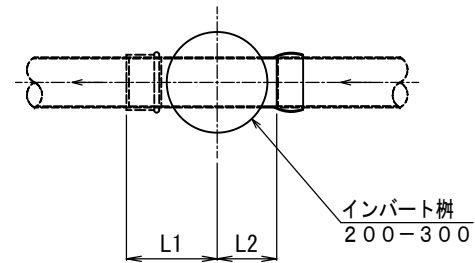
本管径 $\phi 200$

断面図

平面图



A - A

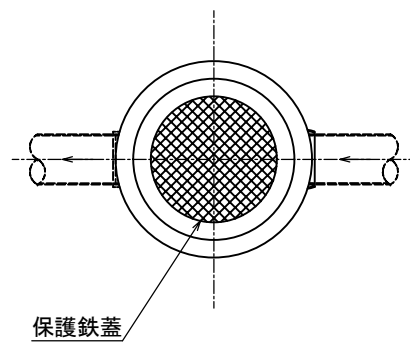


図名	小口径塩ビマス	整理 番号	2	0	1	0	8
----	---------	----------	---	---	---	---	---

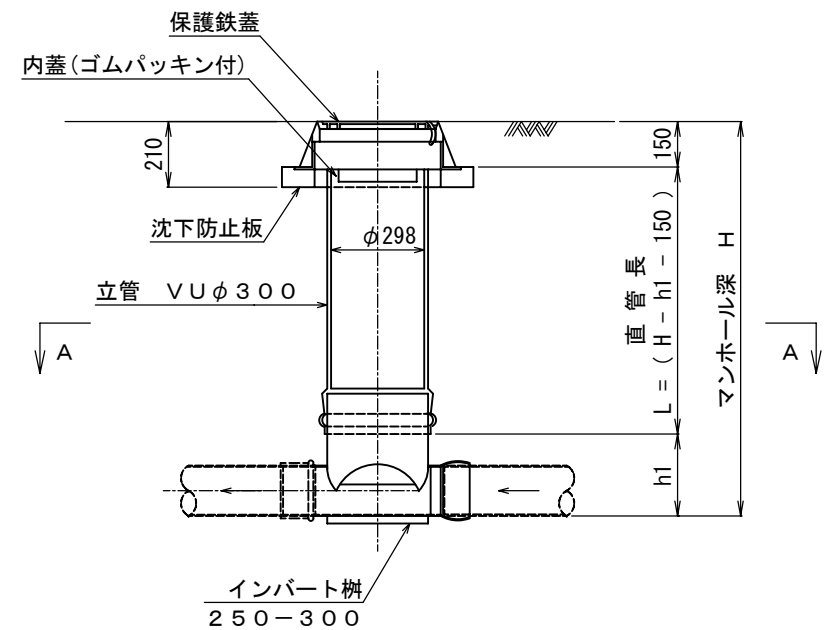
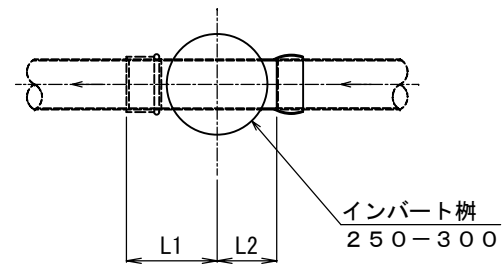
本管径 $\phi 250$

断面図

平面图



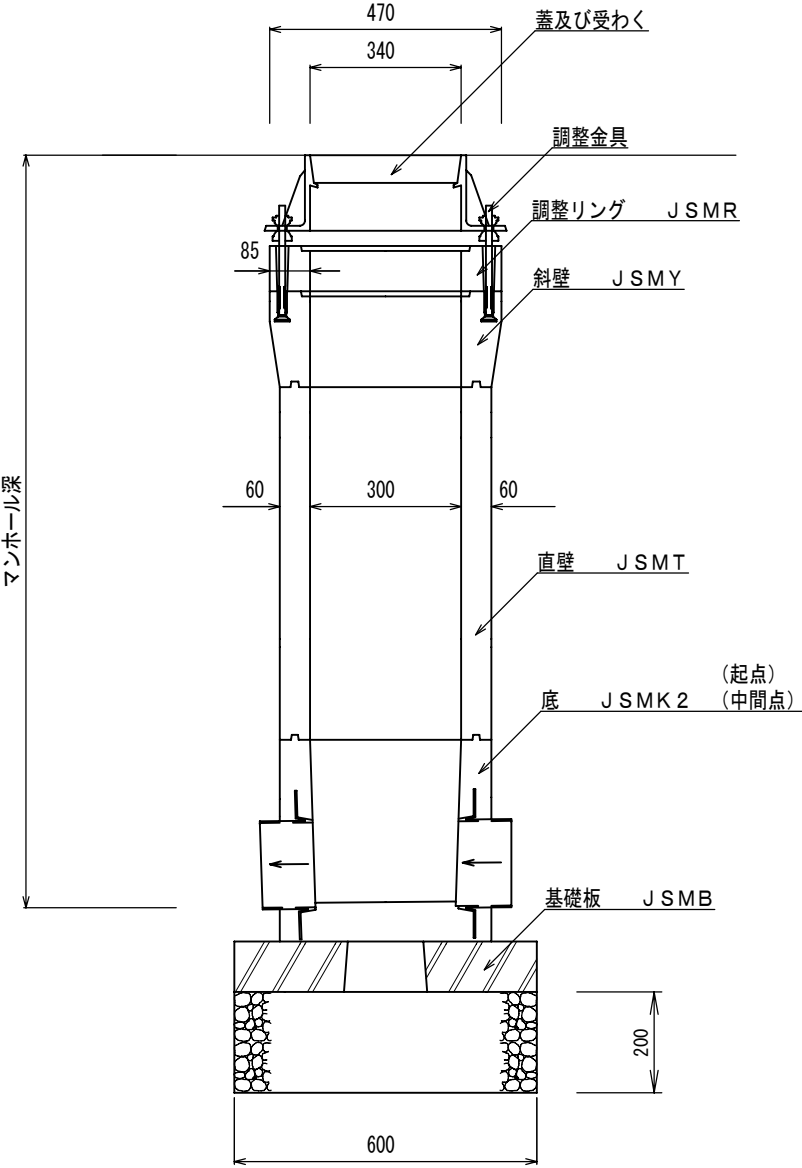
A - A



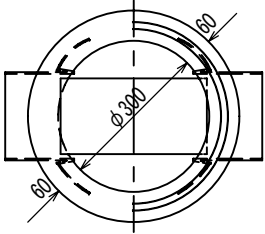
図名	小口径塩ビマス	整理 番号	2	0	1	0	9
----	---------	----------	---	---	---	---	---

小口径コンクリートマス

断面図



平面図



図名

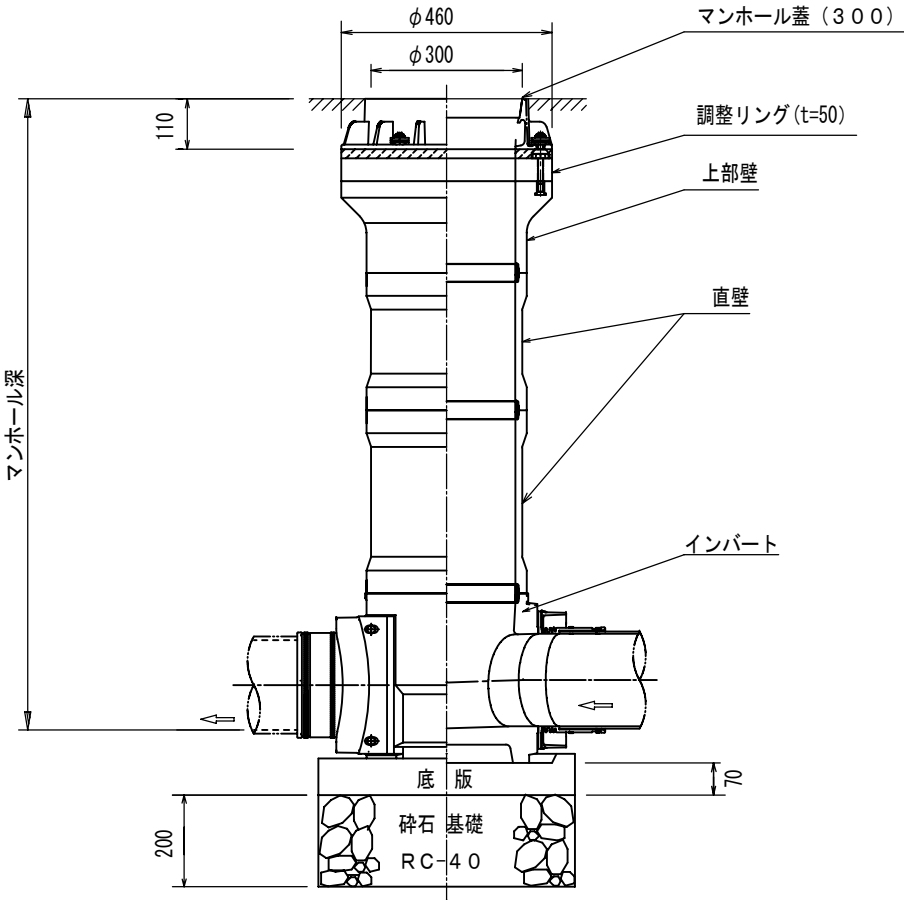
小口径コンクリートマス

整理
番号

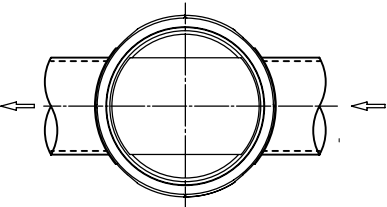
2 0 1 1 0

小口径レジンマス

断面図



平面図



図名	小口径レジンマス標準構造図	整理番号	2	0	1	1	1
----	---------------	------	---	---	---	---	---

現場打人孔用（開削部）

B 型：将来用

(B)



(B)



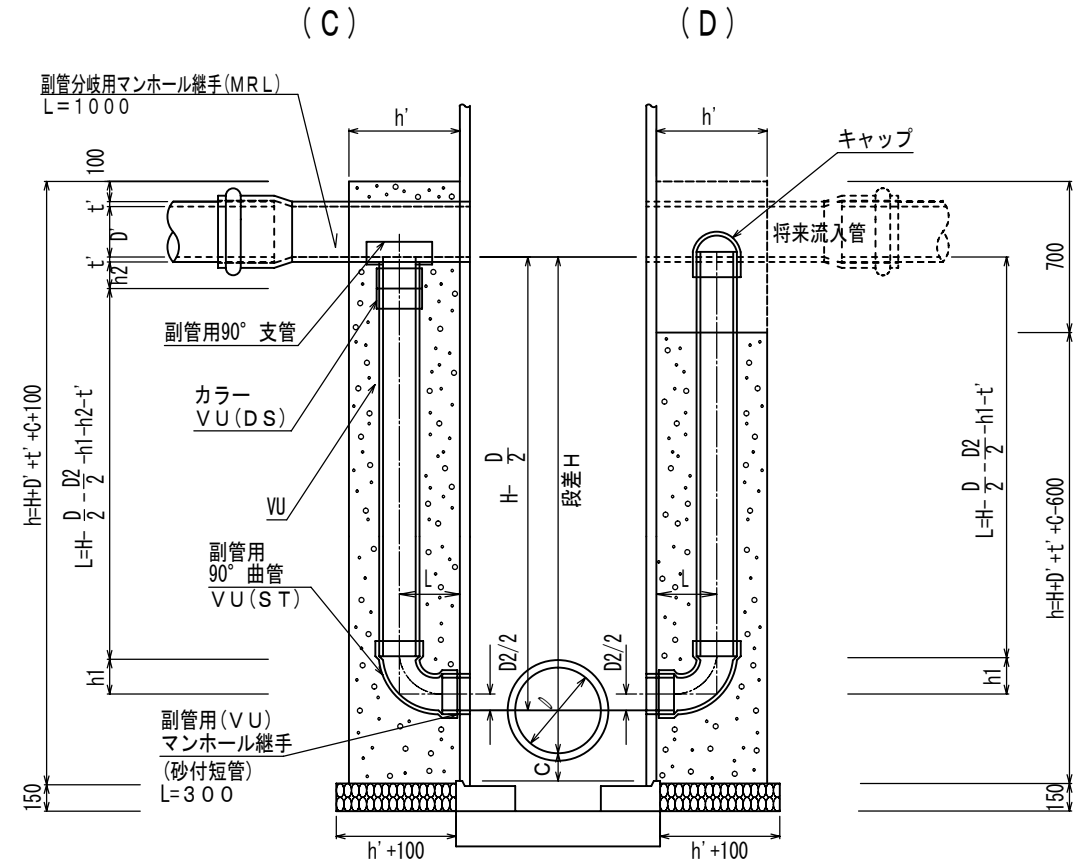
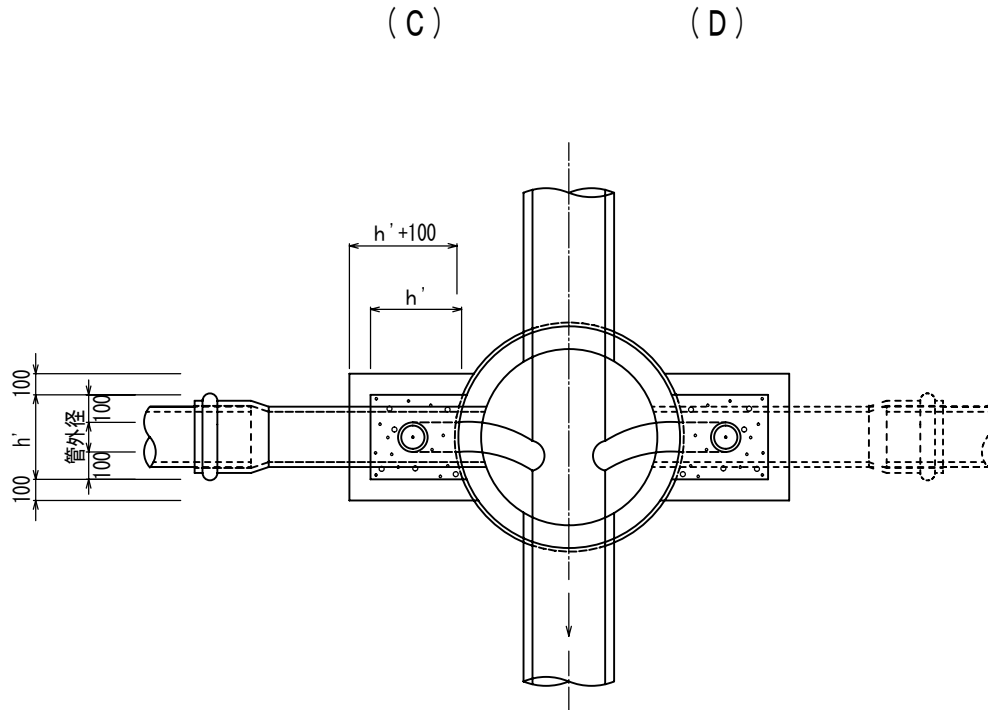
※ h' は5cm単位とする。

開削用副管工

組立人孔用（開削部）

C型：同時施工用

D型：将来用



呼び径 D 1	副管径 D 2	h 1	h 2	副管用90° 曲管	防護コンクリート h'
150	100	128	120	L = 178	178*2=356≒400
200	150	170	140	L = 250	250*2=500
250	200	196	160	L = 301	301*2=602≒600

※ h' は5cm単位とする。

H < 600 mm は設けない

図名	開削用副管工	整理番号	3	0	2	0	2
----	--------	------	---	---	---	---	---

推進用副管工

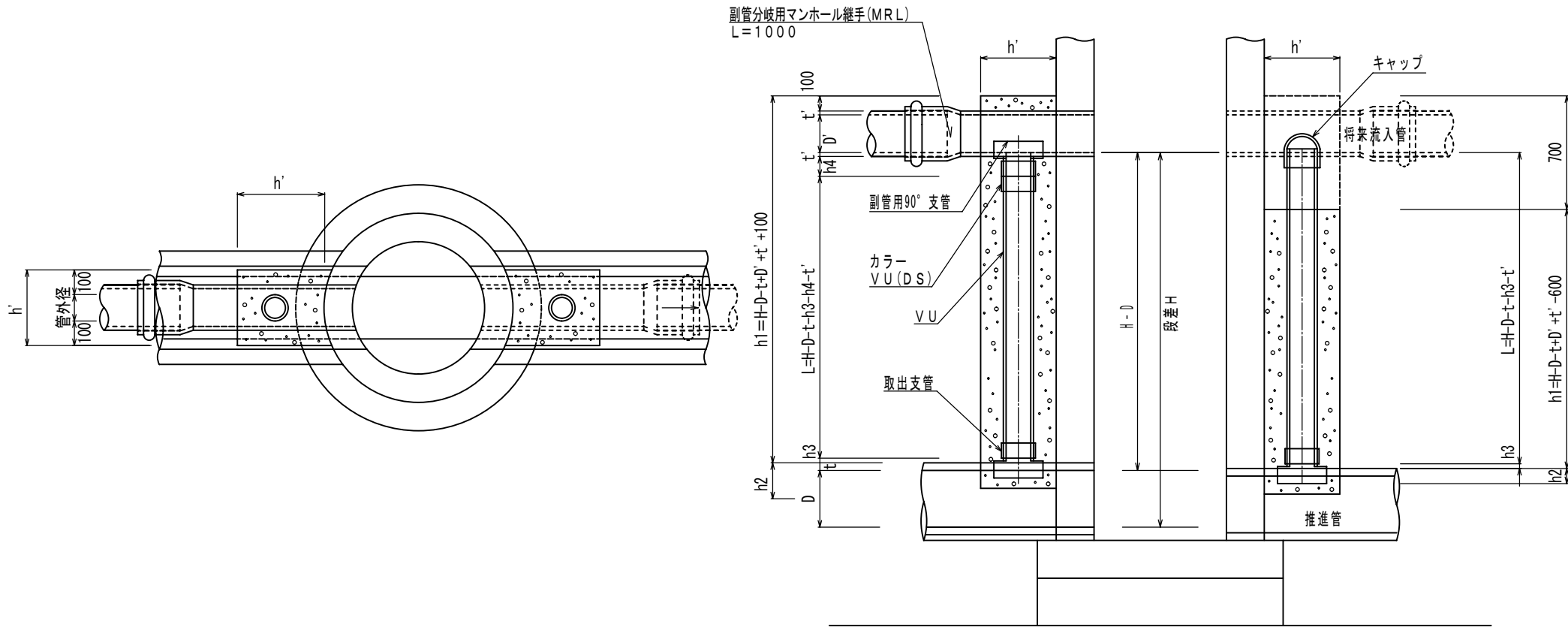
推進管上用
E型：同時施工用
F型：将来用

(E)

(F)

(E)

(F)



呼び径 D 1	副管径 D 2	h 3	h 4	防護コンクリート h'
150	100	45	120	400
200	150	50	140	500
250	200	50	160	600

※ h' は5cm単位とする。

立坑ベース

H < 600 mmは設けない

図名	推進用副管工	整理番号	3	0	2	0	3
----	--------	------	---	---	---	---	---

推進用副管工

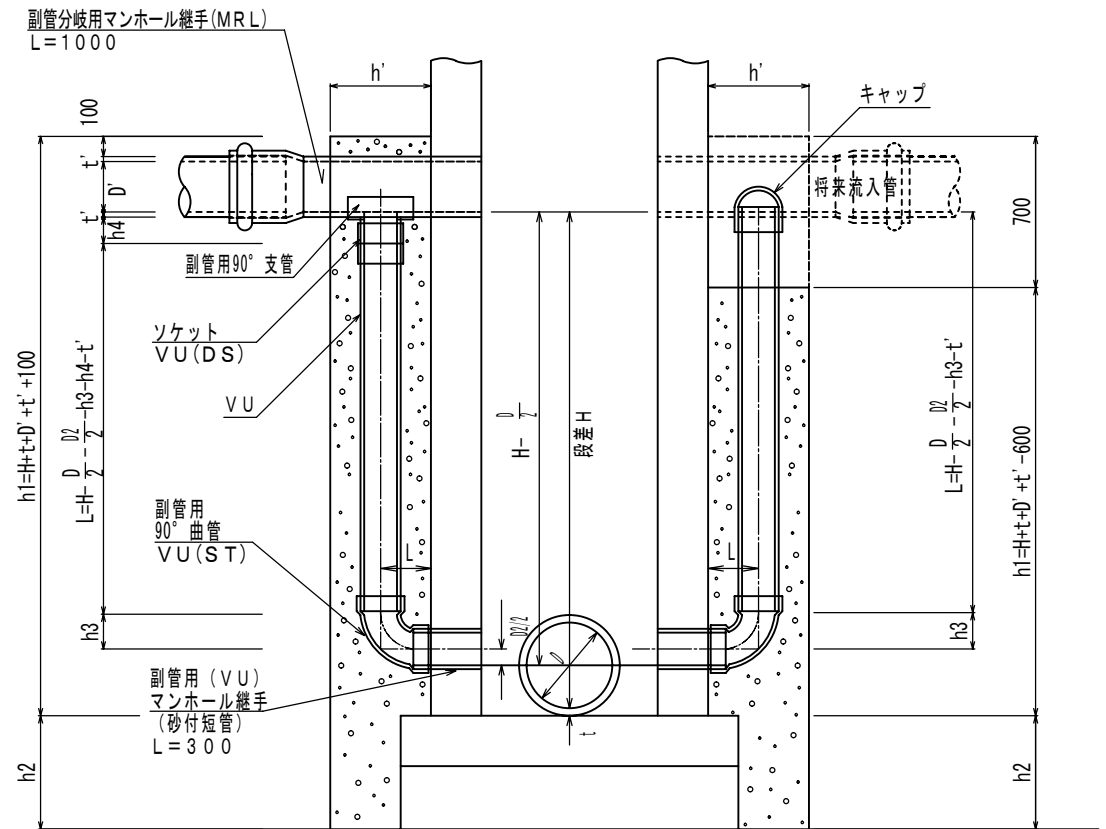
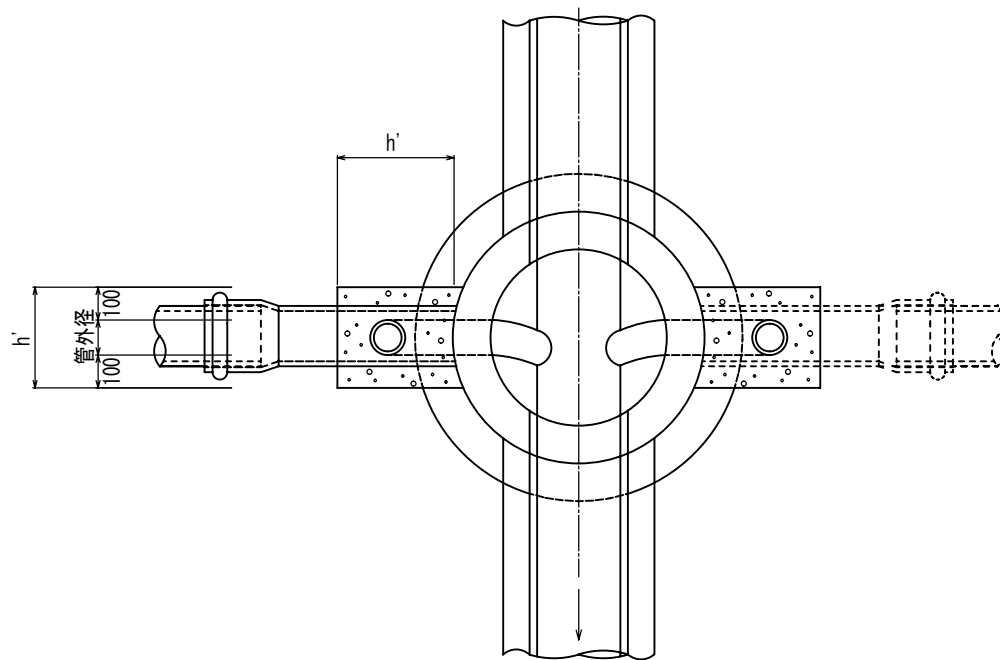
現場打人孔用（立坑部）

G型：同時施工用

H型：将来用

(G)

(H)



立坑ベース

呼び径 D 1	副管径 D 2	h 3	h 4	副管用90° 曲管	防護コンクリート h'
150	100	128	120	L = 178	178*2=356≒400
200	150	170	140	L = 250	250*2=500
250	200	196	160	L = 301	301*2=602≒600

※ h' は5cm単位とする。

H < 600 mmは設けない

図名

推進用副管工

整理
番号

3 0 2 0 4

推進用副管工

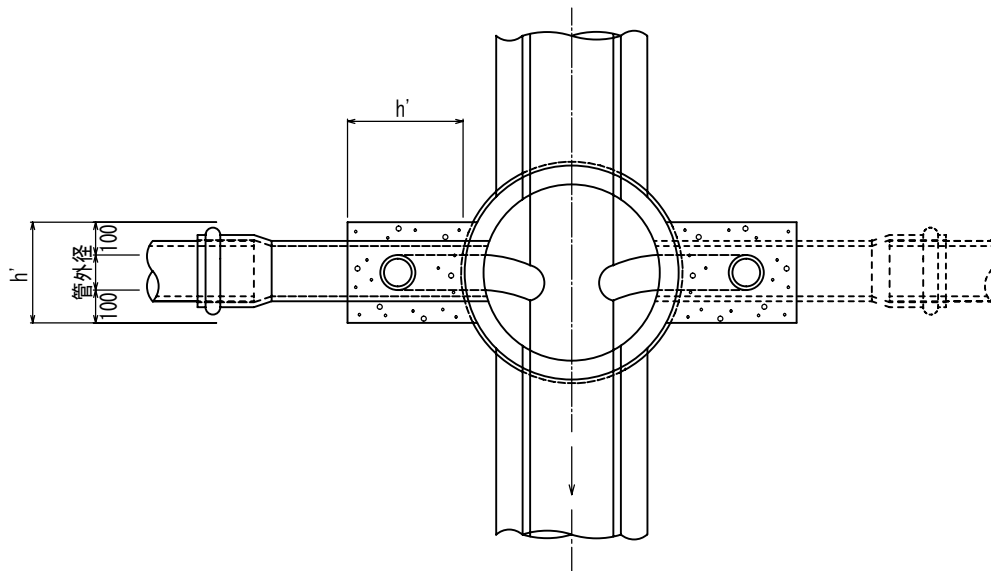
組立人孔用（立坑部）

I 型：同時施工用

U 型：将来用

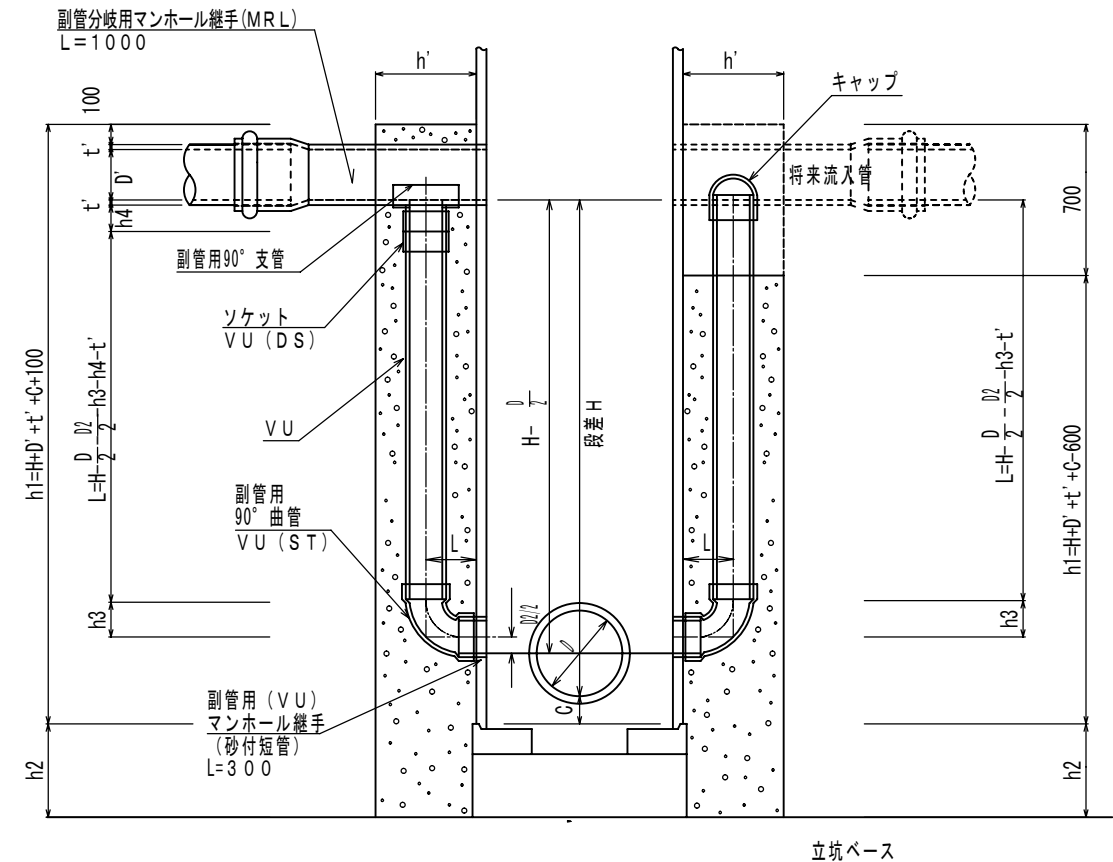
(i)

(J)



(i)

(J)



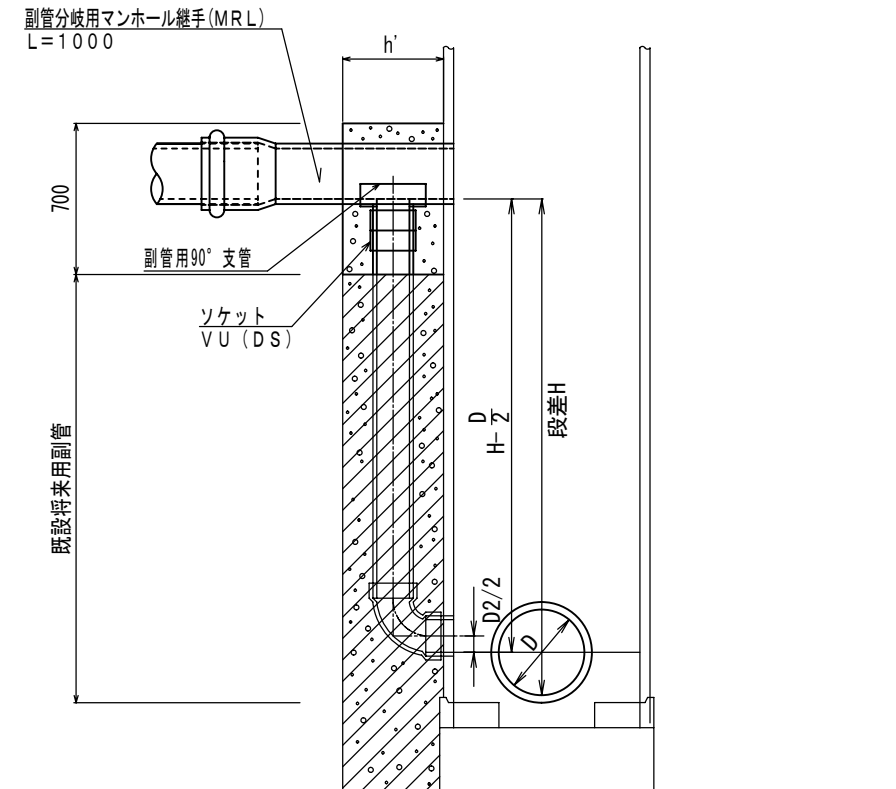
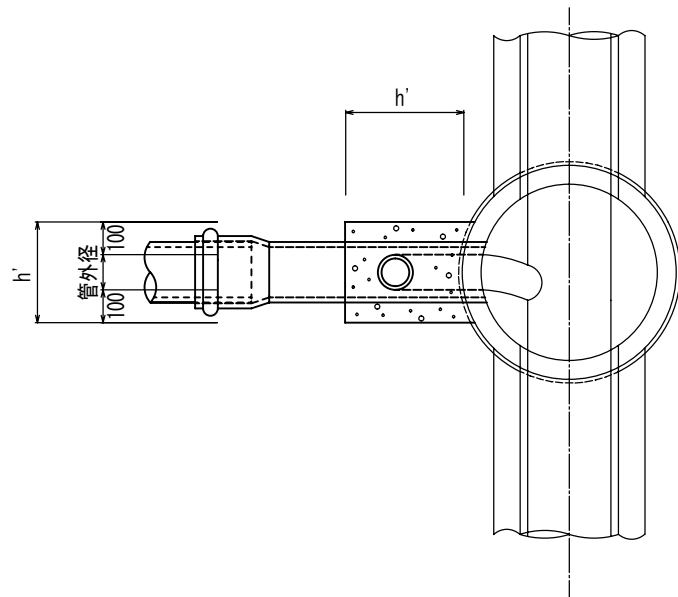
H < 600 mmは設けない

呼び径 D 1	副管径 D 2	h 3	h 4	副管用90° 曲管	防護コンクリート h'
150	100	128	120	L = 178	178*2=356≒ 400
200	150	170	140	L = 250	250*2=500
250	200	196	160	L = 301	301*2=602≒ 600

※ h' は5cm単位とする。

図名	推進用副管工	整理番	3	0	2	0	5
----	--------	-----	---	---	---	---	---

副管取付工



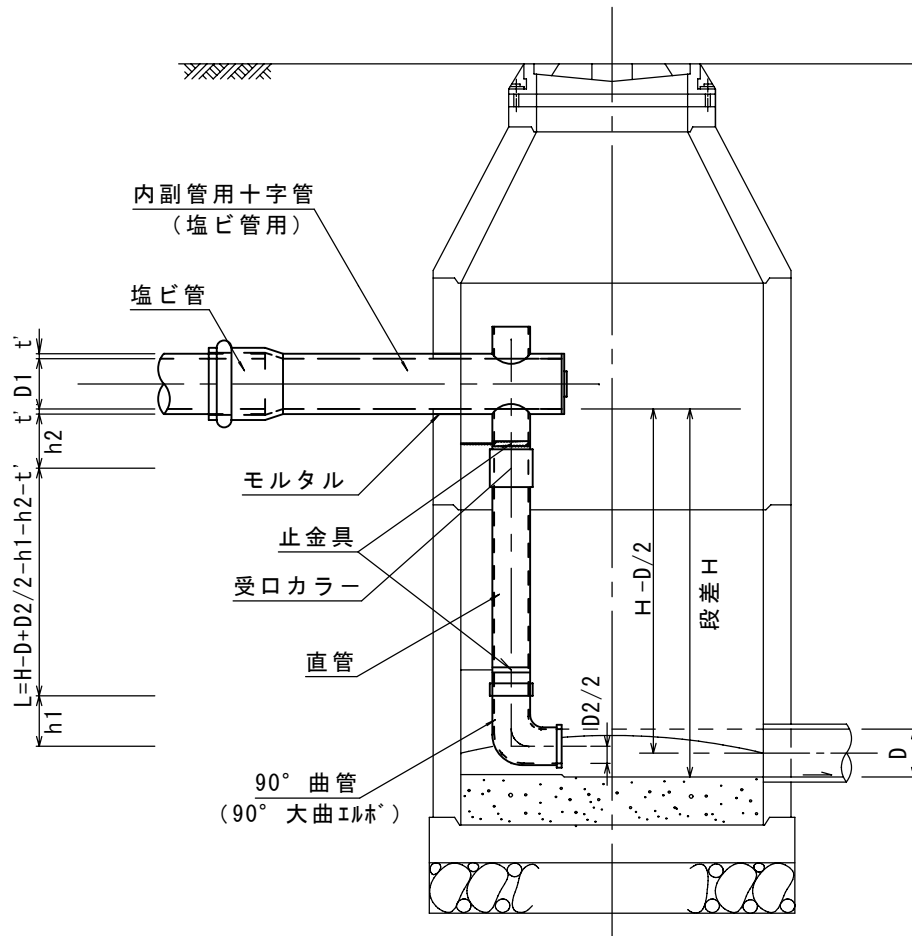
呼び径 D 1	副管径 D 2	防護コンクリート h'
150	100	400
200	150	500
250	200	600

※ h' は5cm単位とする。

図名	副管取付工	整理 番号	3	0	2	0	6
----	-------	----------	---	---	---	---	---

内 副 管 工

塩ビ管用内副管（十字管）



呼び径 D 1	副管径 D 2	h 1	h 2	副管用 90° 曲管
150	100	128	156	L = 178
200	150	170	185	L = 250
250	200	196	211	L = 301

H < 600 mm は設けない

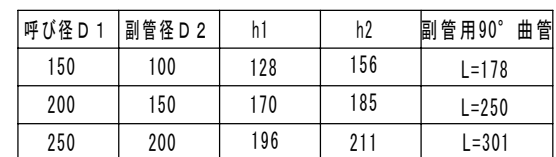
図名

内副管工

整理
番号

3 0 3 0 1

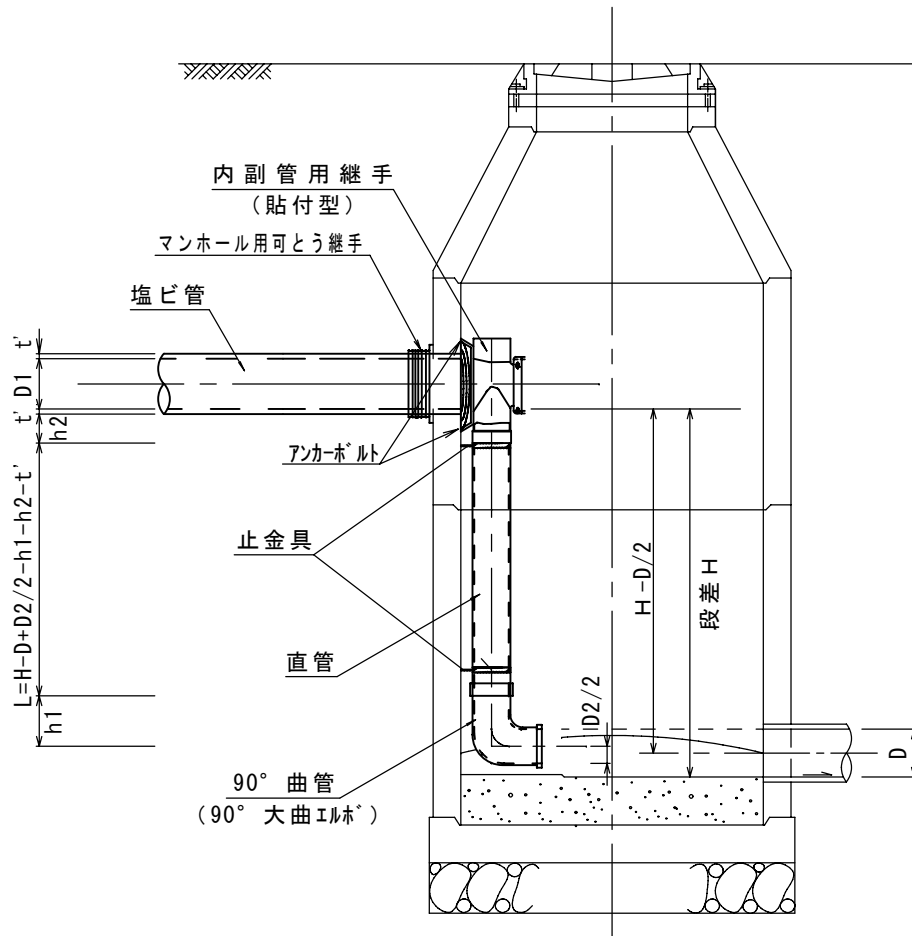
塩ビ管用内副管（十字管）



H < 600 mmは設けない

内 副 管 工

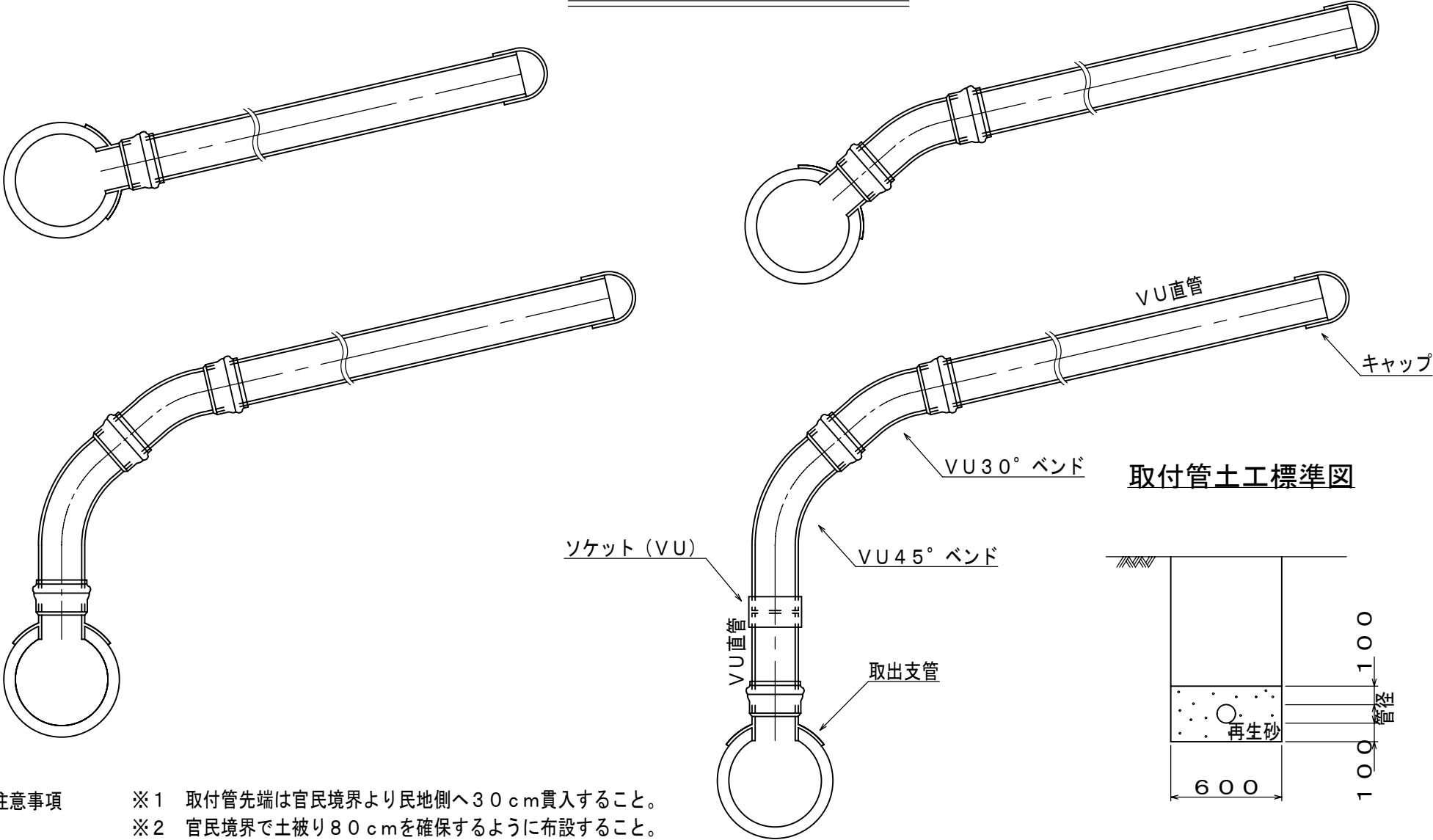
塩ビ管用内副管（貼付型）



呼び径 D1	副管径 D2	h 1	h 2	副管用90° 曲管	備 考
100	100	128	148	L = 178	取付管
150	100	128	148	L = 250	
200	150	170	192	L = 301	

$H < 600 \text{ mm}$ は設けない

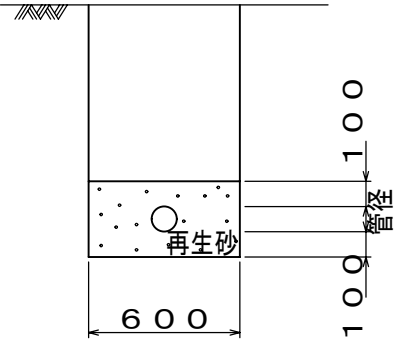
取付管布設標準図



注意事項

- ※1 取付管先端は官民境界より民地側へ30cm貫入すること。
- ※2 官民境界で土被り80cmを確保するように布設すること。
- ※3 取付管土工標準図は本管土工標準図に準ずる。

取付管土工標準図

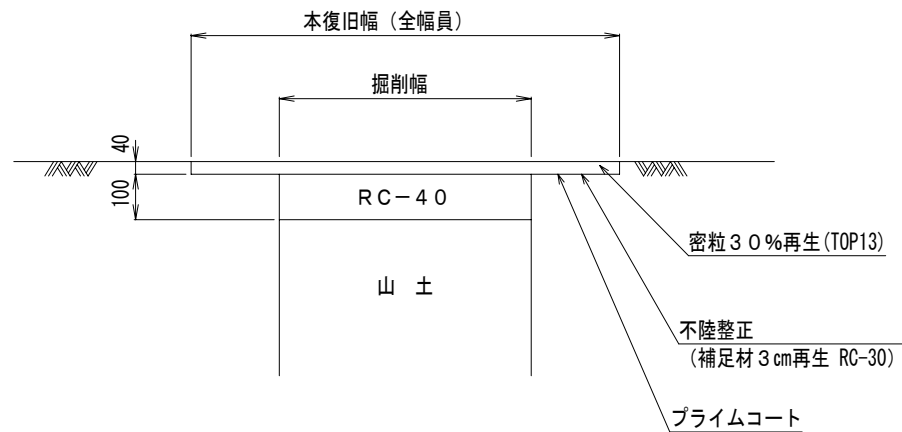


図名	取付管布設図	整理番号	4	0	1	0	1
----	--------	------	---	---	---	---	---

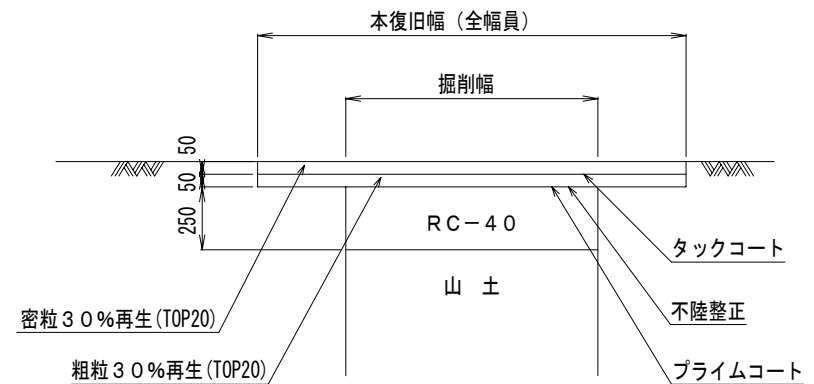
路面復旧工

(国道, 歩道, アスファルト舗装)

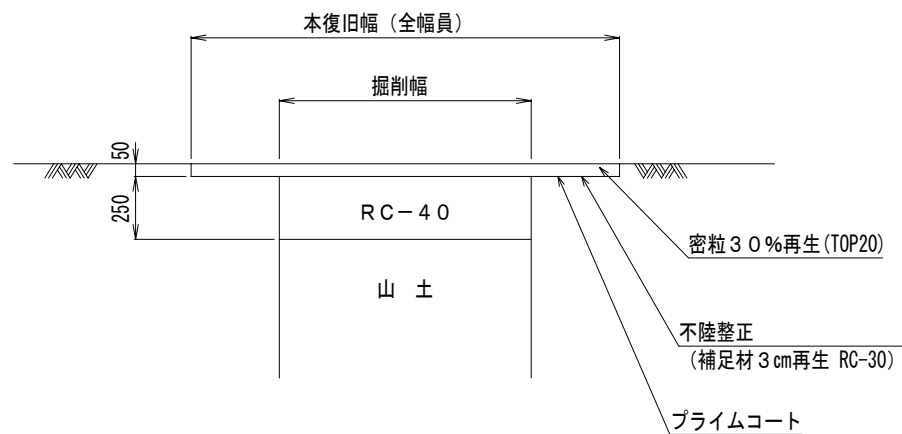
一般部



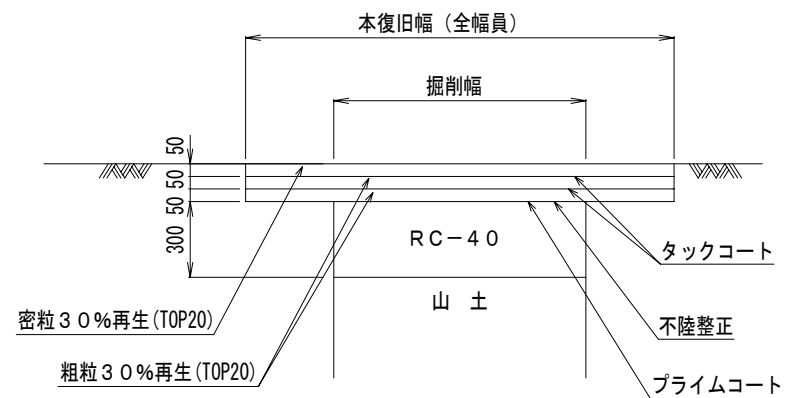
乗入 (B型)



乗入 (A型)



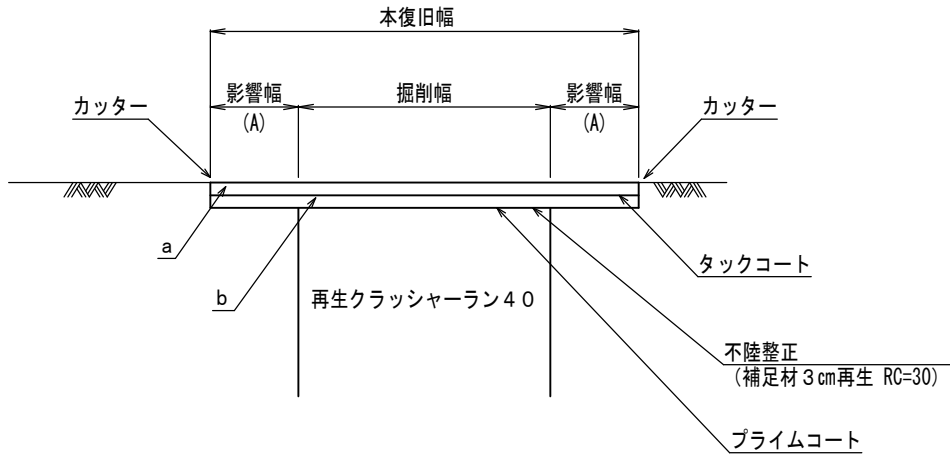
乗入 (C・D型)



図名	路面復旧工	整理番号	5	0	1	0	1
----	-------	------	---	---	---	---	---

路面復旧工

(県道， 車道， アスファルト舗装 t = 1 0， 1 5)

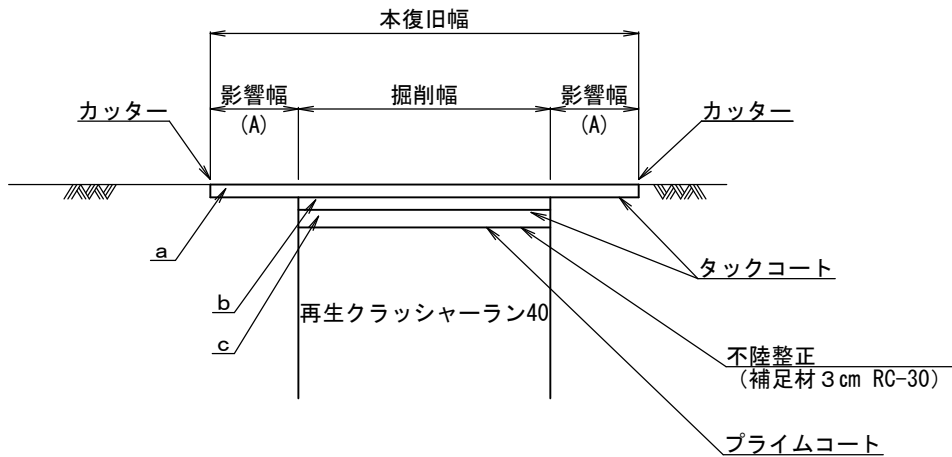


※ 影響幅(A)は路盤厚とし、占用条件による場合は別途とする。

舗装厚	a	b		備考
t = 10cm	密粒30%再生 20mm TOP	粗粒30%再生		
	厚 50mm	厚 50mm		
t = 15cm	密粒30%再生 20mm TOP	安定処理		
	厚 50mm	厚 100mm		

路面復旧工

(県道， 車道， アスファルト舗装 t = 18， 20)

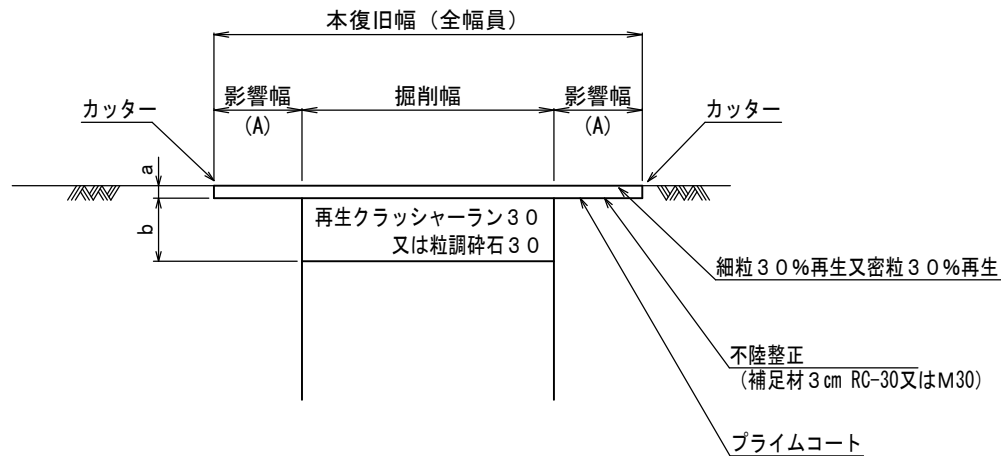


※ 影響幅 (A) は路盤厚とし、占用条件による場合は別途とする。

舗装厚	a	b	C		備考
t = 18cm	密粒30%再生 20mm TOP	粗粒30%再生	安定処理		
	厚 50mm	厚 50mm	厚 80mm		
t = 20cm	密粒30%再生 20mm TOP	粗粒30%再生	安定処理		
	厚 50mm	厚 50mm	厚 100mm		

路面復旧工

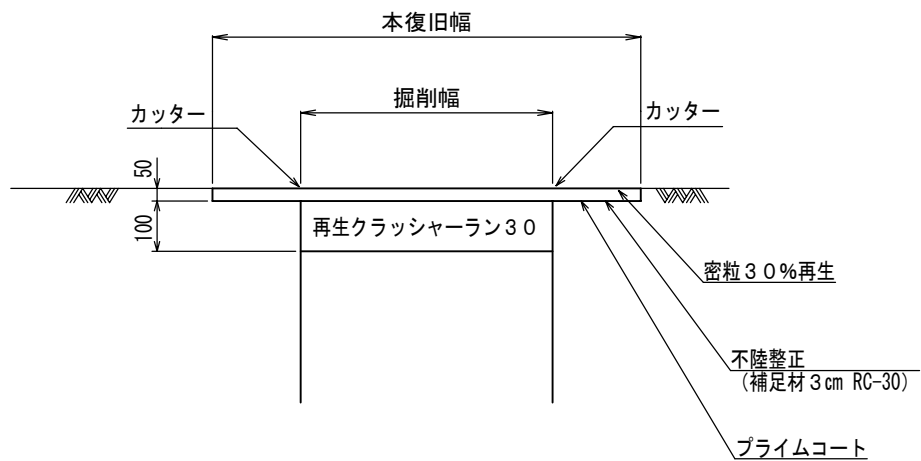
(県道，歩道，アスファルト舗装)



種 別	舗装厚	a	b	c
一般部	t = 3 cm	細粒13再生 30	RC 30 100	— —
乗入部	t = 4 cm	細粒13再生 40	RC 30 150	— —
乗入部	t = 5 cm	密粒30%再生 50	M 30 100	RC 30 100

路面復旧工

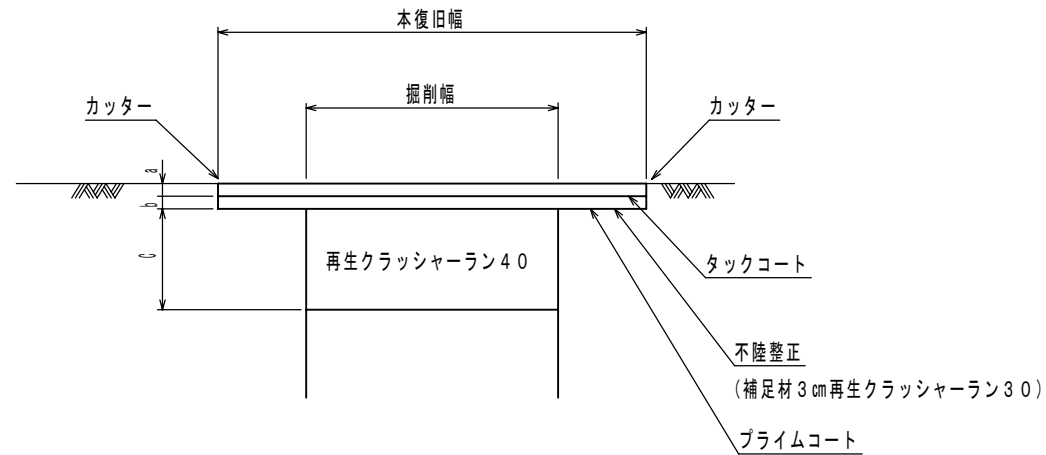
(市道，車道，アスファルト舗装 t = 5)



図名	路面復旧工	整理 番号	5	0	1	0	5
----	-------	----------	---	---	---	---	---

路面復旧工

(市道, 車道, アスファルト舗装 t = 10, 15)



舗装厚	a	b	c	備考
t = 10 cm	密粒30%再生	粗粒30%再生	再生碎石	
	厚 50 mm	厚 50 mm	厚 160 mm	
t = 15 cm	密粒30%再生	瀝青安定処理	再生碎石	
	厚 50 mm	厚 100 mm	厚 160 mm	

路面復旧工

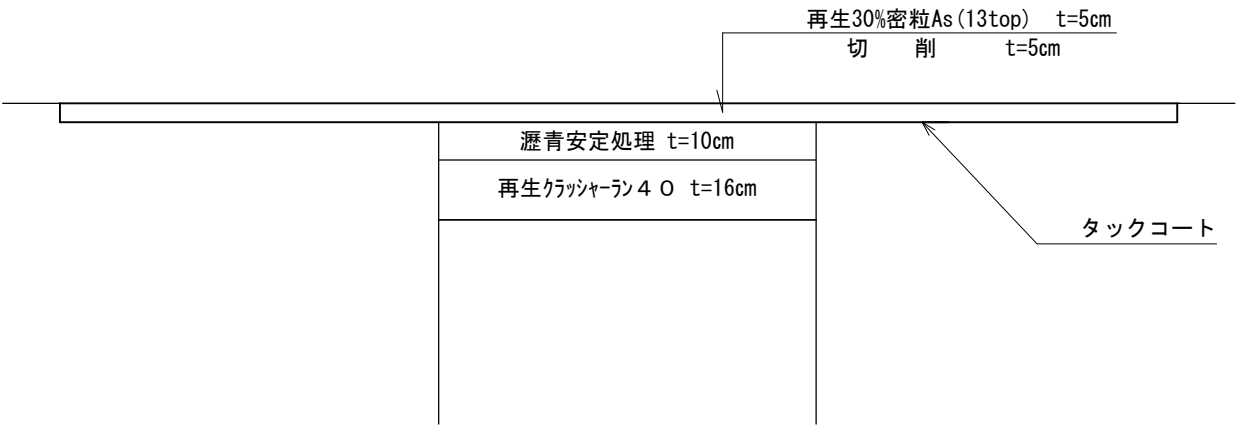
(市道，車道，切削，アスファルト舗装 t = 1 0)



図名	路面復旧工	整理 番号	5	0	1	0	7
----	-------	----------	---	---	---	---	---

路面復旧工

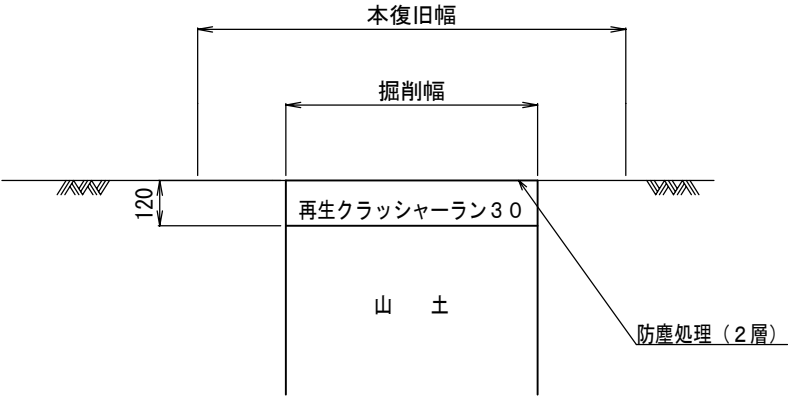
(市道，車道，切削，アスファルト舗装 t = 15)



図名	路面復旧工	整理 番号	5	0	1	0	8
----	-------	----------	---	---	---	---	---

路面復旧工

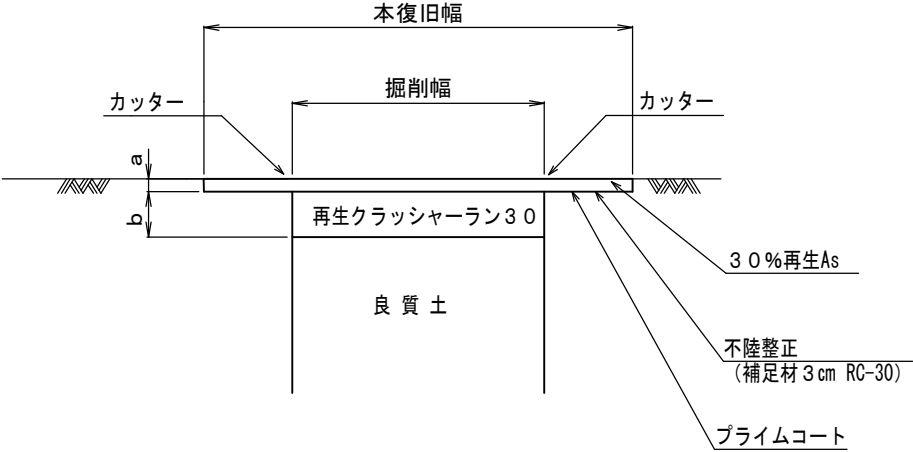
(市道，車道 防塵処理)



図名	路面復旧工	整理 番号	5	0	1	0	9
----	-------	----------	---	---	---	---	---

路面復旧工

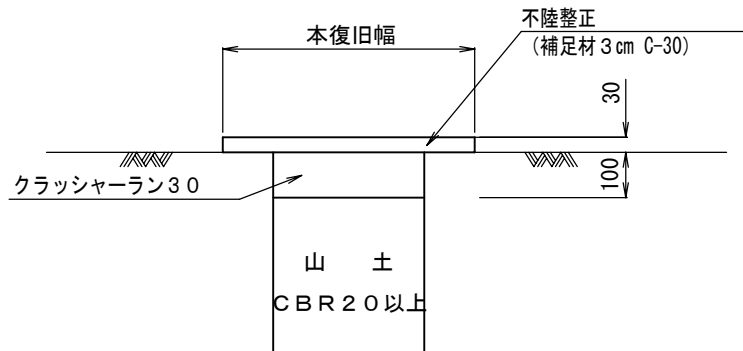
(市道，歩道，アスファルト舗装 t = 3，4)



区 分	a	b	備 考
一 般 部	細粒30%再生	再生碎石	
	厚 30mm	厚 100mm	
乗 入 部	密粒30%再生	再生碎石	
	厚 40mm	厚 100mm	
	— — —	— — —	

路面復旧工

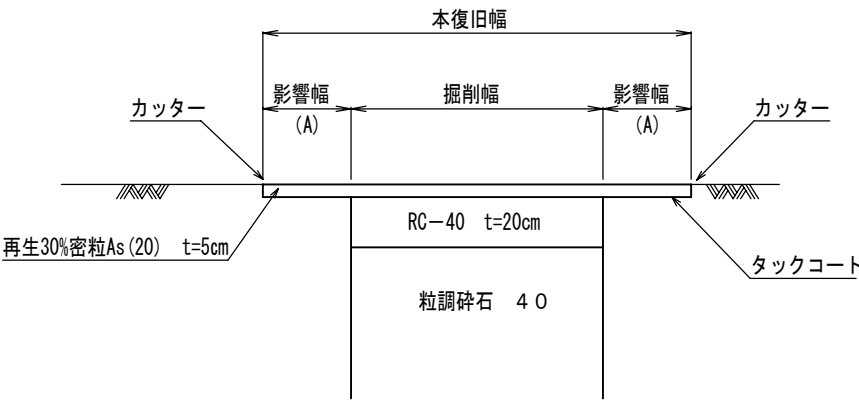
(市道, 未舗装)



図名	路面復旧工					整理 番号	5	0	1	1	1
----	-------	--	--	--	--	----------	---	---	---	---	---

路面復旧工

(国道，側道，アスファルト舗装 t = 5)

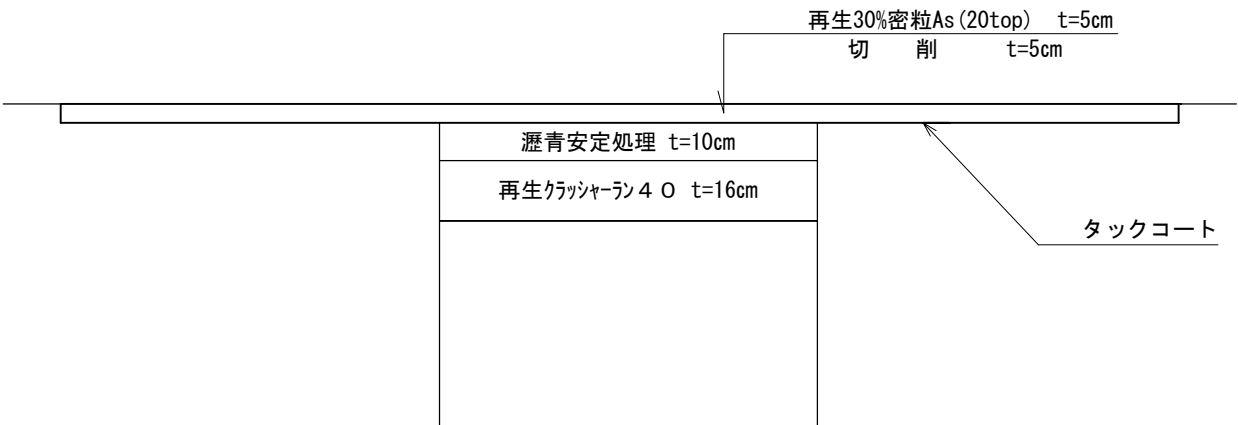


※ 影響幅(A)は路盤厚とし、占用条件による場合は別途とする。

図名	路面復旧工	整理 番号	5	0	1	1	2
----	-------	----------	---	---	---	---	---

路面復旧工

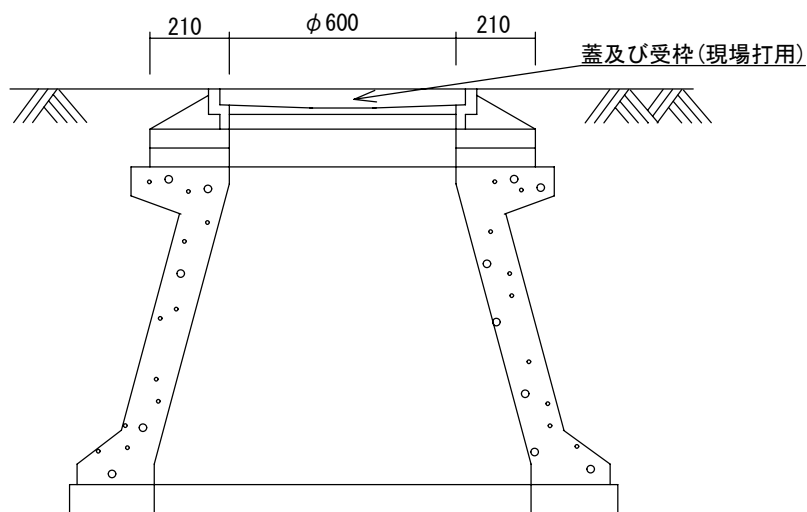
(県道, 車道, 切削, アスファルト舗装 t = 1 5)



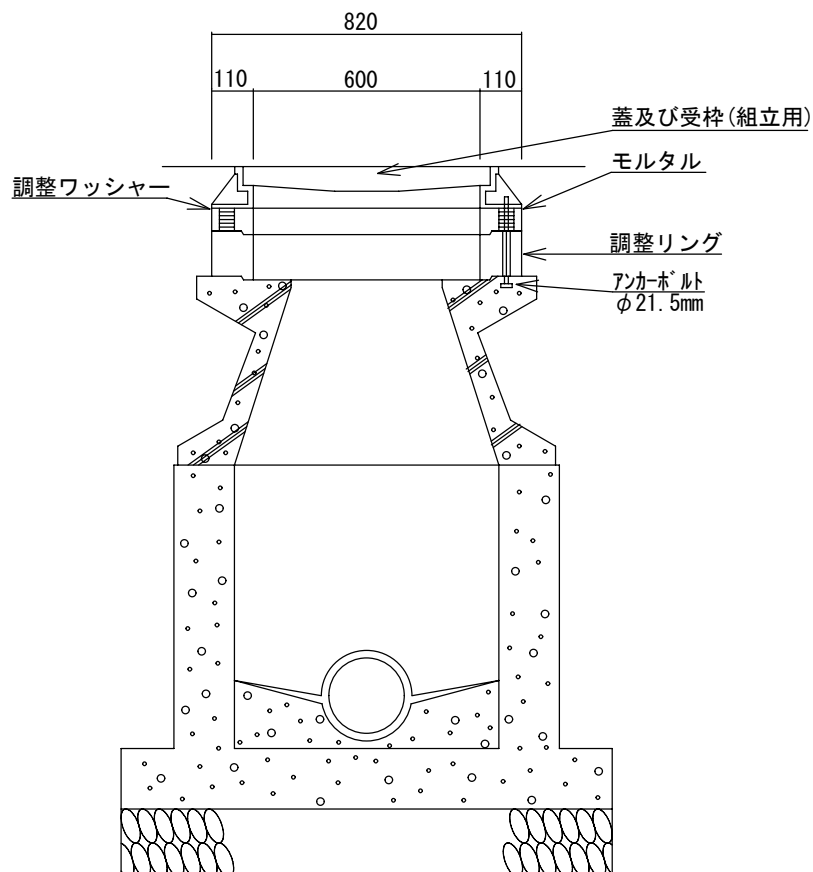
図名	路面復旧工	整理 番号	5	0	1	1	3
----	-------	----------	---	---	---	---	---

人孔蓋取替標準構造図

着工前



完成



図名

人孔蓋取替標準構造図

整理
番号

6

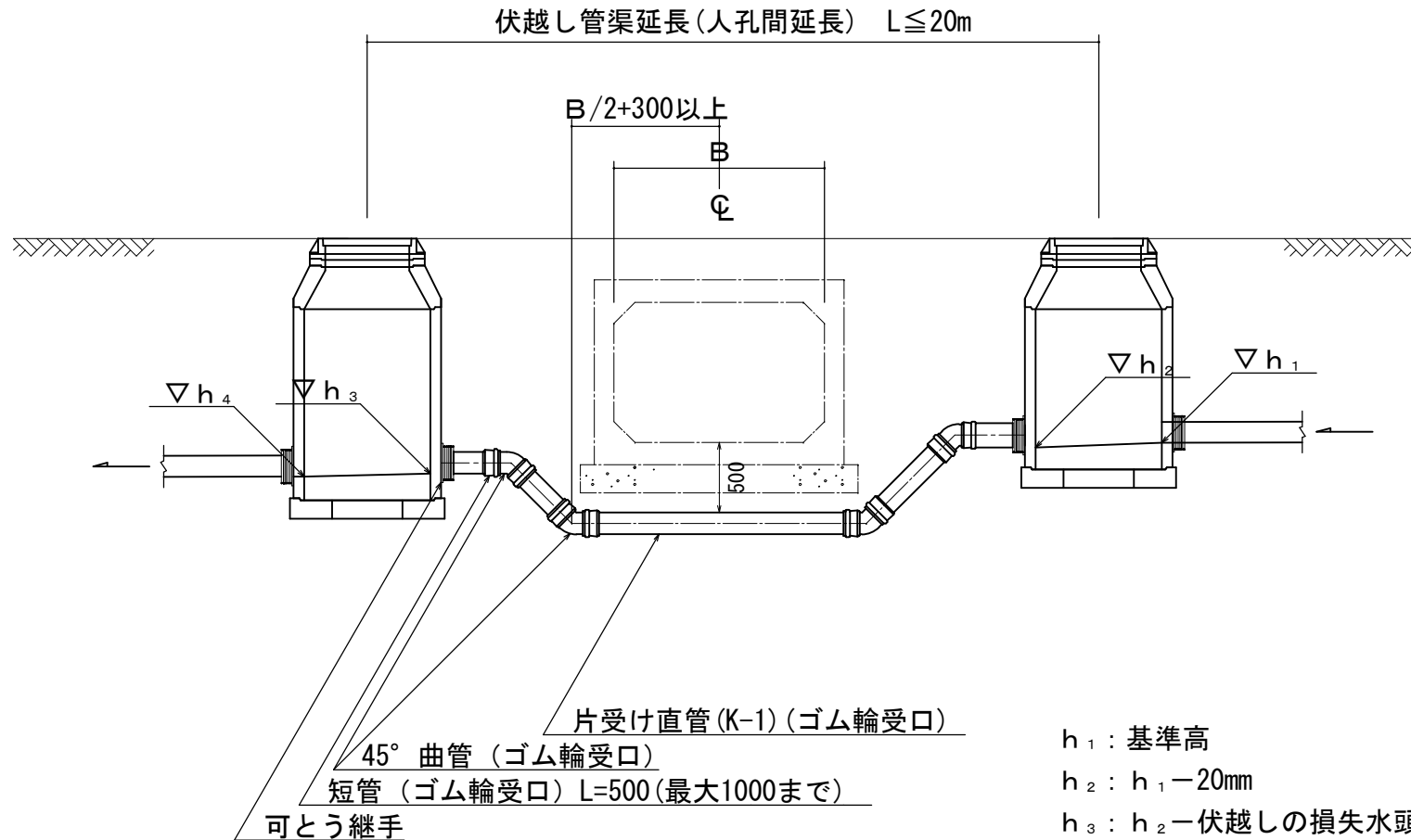
0

1

0

1

ベントサイフォン標準構造図



h_1 : 基準高
 h_2 : $h_1 - 20\text{mm}$
 h_3 : $h_2 - \text{伏越しの損失水頭 (伏越し規定による)}$
 h_4 : $h_3 - 20\text{mm}$
 B : 既設断面と計画断面のいずれか大きい方

図名	サイフォン標準構造図	整理 番号	7	0	1	0	1
----	------------	----------	---	---	---	---	---